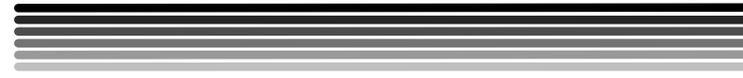


Unsupported

Allied Telesis



CentreCOM®

**AR320**

Broadband Router

**簡単セットアップ**

Easy Configure



# 安全のために



必ずお守りください



## 警告

下記の注意事項を守らないと火災・感電により、死亡や大けがの原因となります。

### 分解や改造をしない

本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。火災や感電、けがの原因となります。



分解禁止

### 雷のときはケーブル類・機器類にさわらない

感電の原因となります。



雷のときはさわらない

### 異物はいれない 水は禁物

火災や感電の恐れがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。(当社のサポートセンターまたは販売店にご連絡ください。)



異物厳禁

### 通風口はふさがない

内部に熱がこもり、火災の原因となります。



ふさがない

### 湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気のあたる場所には置かない

内部回路のショートの原因になり、火災や感電の恐れがあります。



設置場所注意

### 表示以外の電圧では使用しない

火災や感電の原因となります。  
本製品は AC100 - 240V で動作します。  
なお、本製品に付属の電源ケーブルは 100V 用ですのでご注意ください。



電圧注意

### 正しい電源ケーブル・コンセントを使用する

不適切な電源ケーブル・コンセントは火災や感電の原因となります。  
接地端子付きの3ピン電源ケーブルを使用し、接地端子付きの3ピン電源コンセントに接続してください。



3ピン  
コンセント

### コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない

たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。



たこ足禁止

## 設置・移動のときは電源プラグを抜く

感電の原因となります。



プラグを  
抜け

## 電源ケーブルを傷つけない

火災や感電の原因となります。

電源ケーブルやプラグの取扱上の注意：

- ・加工しない、傷つけない。
- ・重いものを載せない。
- ・熱器具に近づけない、加熱しない。
- ・電源ケーブルをコンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜く。



傷つけない

# ご使用にあたってのお願い

次のような場所での使用や保管はしないでください。

- ・直射日光の当たる場所
- ・暖房器具の近くなどの高温になる場所
- ・急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
- ・湿気が多い場所や、水などの液体がかかる場所（湿度80%以下の環境でご使用ください）
- ・振動の激しい場所
- ・ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所（静電気障害の原因になります）
- ・腐食性ガスの発生する場所



## 静電気注意

本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、コネクタの接点部分、ポート、部品などに素手で触れないでください。



## 取り扱いはいないに

落としたり、ぶついたり、強いショックを与えないでください。



# お手入れについて

## 清掃するときは電源を切った状態で

誤動作の原因になります。



## 機器は、乾いた柔らかい布で拭く

汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤（中性）をしみこませ、強く絞ったものでふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。



ぬらすな



中性洗剤  
使用



強く絞る

## お手入れには次のものは使わないでください

・石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん  
（化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください。）



シンナー  
類不可

## 目次

安全のために .....	2
固有の文字列、グローバル IP アドレスについてのお断り .....	6
表記についてのお断り .....	6
1 「Easy Configure」について .....	7
1.1 概要 .....	7
1.2 動作環境 .....	7
1.3 動作内容 .....	7
1.4 設定のための準備（配線など） .....	8
2 インストール .....	9
3 アンインストール / 適用機種の変更 .....	11
4 フレッツ ADSL 端末型（PPPoE）で接続する .....	12
4.1 構成例 .....	12
プロバイダーから提供される情報 .....	12
設定の方針 .....	13
4.2 設定手順 .....	13
5 フレッツ ADSL LAN 型（PPPoE）で接続する .....	18
5.1 構成例 .....	18
プロバイダーから提供される情報 .....	19
設定の方針 .....	19
5.2 設定手順 .....	19
6 B フレッツ 端末型（PPPoE）で接続する .....	25
6.1 概要 .....	25
6.2 設定手順 .....	25
7 B フレッツ LAN 型（PPPoE）で接続する .....	26
7.1 概要 .....	26
7.2 設定手順 .....	26
8 CATV インターネット 端末型（DHCP）で接続する .....	27
8.1 概要 .....	27
プロバイダーから提供される情報 .....	27
設定の方針 .....	28
8.2 設定手順 .....	28
9 OCN ADSL アクセス IP1 プラン（PPPoE） .....	33
9.1 概要 .....	33
9.2 設定手順 .....	33
10 スーパー OCN DSL アクセス（Ethernet） .....	34
10.1 概要 .....	34
10.2 設定手順 .....	35
プロバイダーから提供される情報 .....	35
設定の方針 .....	35
10.3 設定手順 .....	35
11 Easy Configure の操作 .....	41
11.1 基本操作 .....	41



起動 .....	41
「ファイル」メニュー .....	42
「接続先」メニュー .....	42
「オプション」メニュー .....	43
「ヘルプ」メニュー .....	46
「設定を作成」ボタン .....	48
「設定を保存」ボタン .....	50
「クリア」ボタン .....	50
「終了」ボタン .....	50
11.2 「LAN 設定」ページ .....	51
サービス形態 .....	51
LAN 設定 (eth0) .....	51
DNS サーバの設定 .....	53
DHCP サーバの設定 .....	54
11.3 「接続先」ページ (PPPoE) .....	55
PPPoE 設定 (ppp0) .....	55
11.4 「WAN 設定」ページ (DHCP、Ethernet) .....	57
WAN 設定 (eth1) .....	57
11.5 「Firewall」ページ .....	58
Firewall を使用する .....	58
NAT の設定 .....	58
Rule の設定 .....	59
11.6 「システム」ページ .....	60
システムネームの設定 .....	60
Syslog サーバの設定 .....	61
Firewall e-mail 機能 .....	61
デフォルトパスワードの変更 .....	61
ユーザの追加 .....	61
おことわり .....	63
ご注意 .....	63
商標について .....	63
マニュアルバージョン .....	63

## 固有の文字列、グローバル IP アドレスについてのお断り

本書は、説明のために以下のような架空の文字列、グローバル IP アドレスを使用します。以下のグローバル IP アドレスは、お客様の環境でご使用いただくことはできません。実際の設定では、お客様の環境におけるものに適宜読み替えていただきますようお願い申し上げます。

- ・ プロバイダーから提供されたグローバル IP アドレスとして「123.45.67.80 ~ 123.45.67.95」
- ・ スーパー OCN DSL アクセスにおいて、DSL モデムルーターに設定するグローバル IP アドレスとして「11.22.33.45」「11.22.33.46」
- ・ DNS サーバーのアドレスとして「87.65.43.21 ~ 87.65.43.23」
- ・ ドメイン名として「deilla.co.jp」「myisp.ne.jp」
- ・ 接続のためのログイン名、メールアドレスとして「hanako」「deilla」
- ・ プロバイダーから与えられるコンピューター名として「zy1234567-a」
- ・ 接続のためのパスワードとして「jK5H&i2p」
- ・ 本製品の manager のパスワードとして「Wasurenai!!」

## 表記についてのお断り

本書は、「インターネット・サービス・プロバイダー」を「プロバイダー」と略します。

本書は、「CentreCOM AR320」を「本製品」または「AR320」と表記します。



# 1 「Easy Configure」について

## 1.1 概要

「Easy Configure for Broadband Router」(以下 Easy Configure)は、CentreCOM AR320(以下本製品)に対する設定を支援するソフトウェアです。Easy Configure は、下記の名称のサービス(または同等のサービス)を利用したプロバイダーへの接続に対応しています。

- ・ フレッツ ADSL 端末型 (PPPoE)
- ・ フレッツ ADSL LAN 型 (PPPoE)
- ・ B フレッツ 端末型 (PPPoE)
- ・ B フレッツ LAN 型 (PPPoE)
- ・ CATV インターネット 端末型 (DHCP)
- ・ OCN ADSL アクセス IP1 プラン (PPPoE)
- ・ スーパー OCN DSL アクセス (Ethernet)

## 1.2 動作環境

Easy Configure は、日本語版の下記の OS で動作いたします。

- ・ Windows® 95、Windows 98、Windows 98 Second Edition
- ・ Windows Me
- ・ WindowsNT® 4.0 Workstation
- ・ Windows 2000 Professional

Easy Configure を実行するコンピューターは、下記のリソースが必要です。

- ・ 32MB の RAM (推奨 64MB 以上)
- ・ 5MB のハードディスク空き容量
- ・ シリアルポート COM1 ~ 8 のうちの 1 つ (デフォルトは COM1)
- ・ イーサネットインターフェース (IP ネットワーク経由により設定を行う場合)

Easy Configure は、下記の AR ルーターに適用可能です。

- ・ Ver. 2.0 以上のファームウェアが搭載された AR320

## 1.3 動作内容

お客様の環境に応じて、Easy Configure のボックスのチェック「✓」や、入力欄への文字入力を行います。「設定を作成」ボタンをクリックし、お客様の環境に合った設定ファイルを作成します。「設定を送信」ボタンをクリックして、設定ファイルを本製品に送信します。送信は、シリアルポート経由(デフォルト)または IP ネットワーク経由で行うことができます。設定ファイルの送信が完了すると、本製品は自動的に再起動し、施された設定で動作を開始します(受信した設定ファイルを元に動作を開始します)。

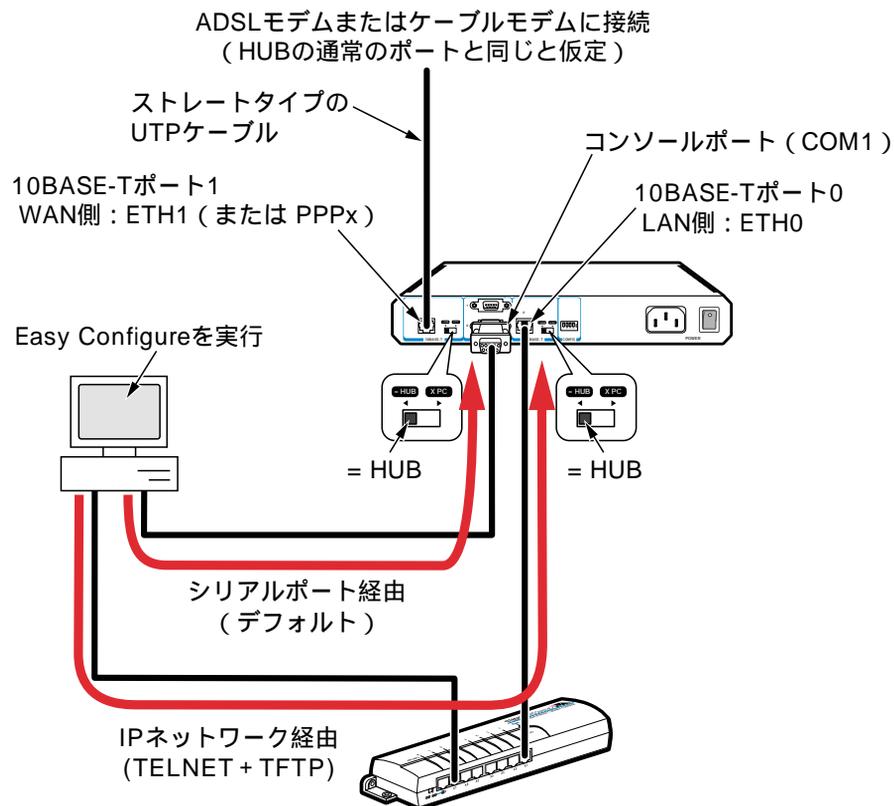


図 1.3.1 Easy Configure の動作

## 1.4 設定のための準備 (配線など)

- 1 別冊子「取扱説明書」の「2.4 設置する」をご覧になり、本製品の設置、WAN 回線、LAN の配線を行ってください。
- 2 AR320 の RS-232 ポート 0 にクロス変換アダプター<sup>\*1</sup> を接続し、固定ネジを締めてください。クロス変換アダプターにコンソールケーブルを接続し、Easy Configure を実行するコンピュータの COM1<sup>\*2</sup> ポートに接続してください。
- 3 本製品と共に使用する機器 (ADSL モデム、ケーブルモデム、HUB など) の電源をオンにしてください。
- 4 電源ケーブルを本製品背面の電源コネクタに接続し、電源ケーブルのプラグを AC コンセントに接続してください (本製品には電源スイッチはありません)。AC コンセントに接続してから、約 1 分待ち (本製品の起動は約 1 分を要します) LINK0、1 の点灯により本製品と共に使用する機器とのリンクが確立していることを確認してください。
- 5 Easy Configure を実行するコンピュータの電源をオンにし、「2 インストール」(p.9) に進んでください。

\*1 クロス変換アダプター、コンソールケーブルは本製品に付属しています。

\*2 Easy Configure は、デフォルトで COM1 ポートを使用します。

## 2 インストール

1 Easy Configure のリリースファイルをご用意ください。リリースファイルは、「ecfb\_v .exe」のような名前で提供されます。「 」の部分はバージョン番号です。

Easy Configure のリリースファイルは、下記に置かれています。以下の説明では、本製品に付属の CD-ROM からインストールすると仮定します。また、バージョンは 2.0 であると仮定します。

- ・ 本製品に付属の CD-ROM ( ¥unsupported フォルダ )
- ・ 弊社 Web ページ ( <http://www.allied-telesis.co.jp/support/AR320/download.html> )<sup>\*3</sup>

2 Easy Configure をインストールするコンピューターで実行中のアプリケーションがある場合は、すべて終了させてください。

3 CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れてください。

4 「マイコンピュータ」アイコン 「CD-ROM ドライブ」アイコンと進み、「¥unsupported」フォルダの「ecfb\_v20.exe」をダブルクリックしてください<sup>\*4</sup>。ここでは、CD-ROM ドライブを「D:」と仮定します（弊社 Web からダウンロードした場合は、ecfb\_v20.exe を適当なフォルダに置いてダブルクリックしてください）。



図 2.0.1 ecfb\_v20.exe

\*3 Web ページでは、最新バージョンを提供しています。

\*4 「Econfig」フォルダに収録のものは、AR300 V2/AR300L V2 用のものです。AR320 ではご使用になれません。

- 5 インストール先のフォルダーを指定し、「OK」をクリックしてください。ここでは、「C:¥EC4BR」を仮定します。\*5

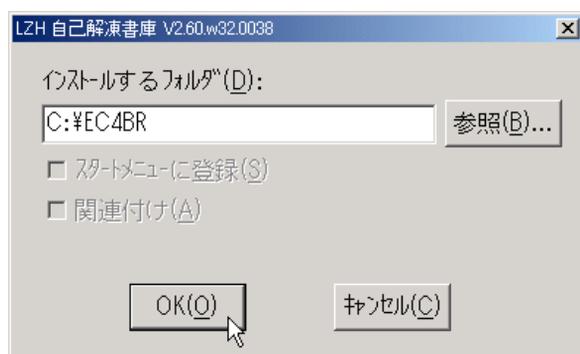


図 2.0.2 インストール先のフォルダーを指定

- 6 「econfg4br.exe」アイコンをダブルクリックしてください。

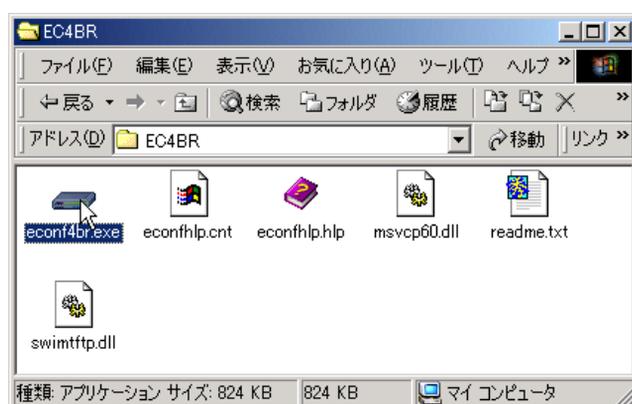


図 2.0.3 Easy Configure の起動

- 7 ご使用になる機種の商品名を選択してください。以後、選択した機種に適合した設定ファイルを出力するようになります（次回、Easy Configure を起動するときは、このダイアログボックスは表示されません）。

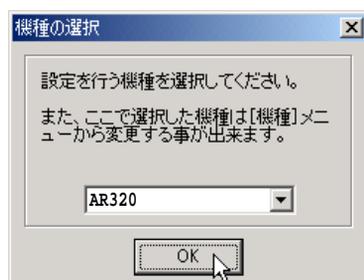


図 2.0.4 機種を選択

\*5 本製品のコンソールターミナルとしてご使用になるコンピューターにインストールすると便利です。コンソールターミナルの説明は、別冊子「取扱説明書」の「3.1 コンソールターミナルの設定」にあります。

8 以上で、Easy Configure のインストールは完了です。ご利用になる接続形態に応じて、下記の章に進んでください。

- ・「4 フレッツ ADSL 端末型 (PPPoE) で接続する」( p.12 )
- ・「5 フレッツ ADSL LAN 型 (PPPoE) で接続する」( p.18 )
- ・「6 B フレッツ 端末型 (PPPoE) で接続する」( p.25 )
- ・「7 B フレッツ LAN 型 (PPPoE) で接続する」( p.26 )
- ・「8 CATV インターネット 端末型 (DHCP) で接続する」( p.27 )
- ・「9 OCN ADSL アクセス IP1 プラン (PPPoE)」( p.33 )
- ・「10 スーパー OCN DSL アクセス (Ethernet)」( p.34 )

### 3 アンインストール / 適用機種の変更

Easy Configure がインストールされているフォルダーを削除してください(「図 2.0.2 インストール先のフォルダーを指定」( p.10 ) の場合は「C:\%EC4BR」)。

Easy Configure の適用機種を変更したい場合は、Easy Configure がインストールされているフォルダーにある「econf.ini」ファイルを削除した後、econf4br.exe を起動してください。「機種の選択」ダイアログボックス(図 2.0.4)が表示されますので、機種を選択してください。

## 4 フレッツ ADSL 端末型 ( PPPoE ) で接続する

フレッツ ADSL を使用し、プロバイダーと端末型接続の契約を結んだときの設定について説明します。

### 4.1 構成例

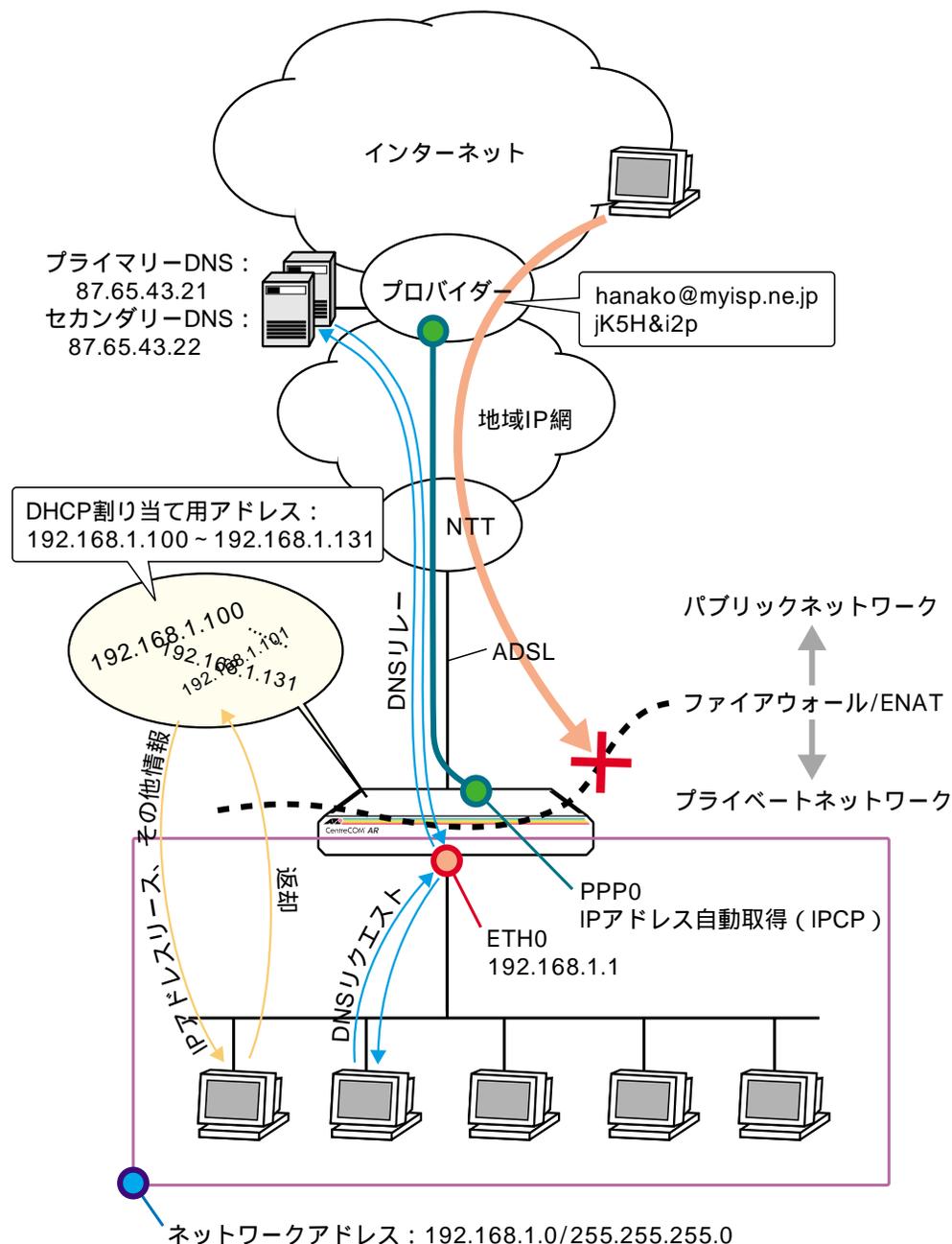


図 4.1.1 フレッツ ADSL 端末型接続の構成例

### プロバイダーから提供される情報

以下の説明では、プロバイダーから下記の契約情報が与えられていると仮定します。実際の設定には、お客様の契約情報をご使用ください。

- ・ 接続のユーザー名 : hanako@myisp.ne.jp
- ・ 接続のパスワード : jK5H&i2p

## 設定の方針

- ・ ファイアウォールを利用し、外部からの不正アクセスを遮断しつつ、内部からは自由にインターネットへのアクセスができるようにします。
- ・ EnhancedNAT を使用し、LAN 側ネットワークのプライベート IP アドレスをプロバイダーから与えられるグローバル IP アドレスに変換します。これにより、LAN に接続された複数のコンピュータからインターネットへの同時アクセスが可能になります。
- ・ 本製品の WAN 側の IP アドレスは、プロバイダーから動的に割り当てられます。また、DNS サーバーアドレスもプロバイダーから自動的に取得します。
- ・ 本製品を DHCP サーバーとして動作させ、LAN 側コンピュータに IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバーアドレスの情報を提供します。
- ・ 本製品の DNS リレー機能により、LAN 側コンピュータからの DNS リクエストを、プロバイダーの DNS サーバーに転送します。上記 DHCP サーバーの設定により、LAN 側コンピュータに対しては、DNS サーバーアドレスとしてルーター自身の IP アドレスを教えます。
- ・ MS Networks のパケットの WAN 側への漏洩を阻止します。
- ・ インターネット側からの PING に応答しません。

## 4.2 設定手順

- 1 EasyConfigure を起動してください。



図 4.2.1 Easy Configure の起動

- 2 「LAN 設定」を選択し、次の項目を設定してください。

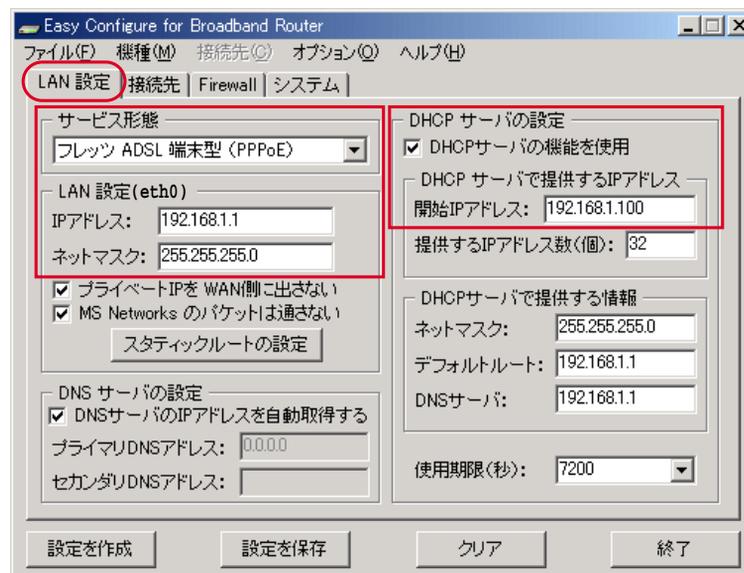


図 4.2.2 フレッツ ADSL 端末型接続の LAN 設定

## ○ サービス形態

「フレッツ ADSL 端末型 ( PPPoE )」を選択してください。

## ○ LAN 設定 ( eth0 )

LAN 側の IP アドレス、ネットマスクを設定してください。IP アドレスはプライベート IP アドレスとなります。ここでは「192.168.1.1」「255.255.255.0」を入力すると仮定します。

## ○ DHCP サーバの設定

「DHCP サーバの機能を使用」をチェック「✓」し、「開始 IP アドレス」を入力してください。ここでは「192.168.1.100」を入力すると仮定します。

## ○ その他の項目

デフォルトのままがかまいません。

3 「接続先」を選択し、「ユーザ名」「パスワード」を入力してください。

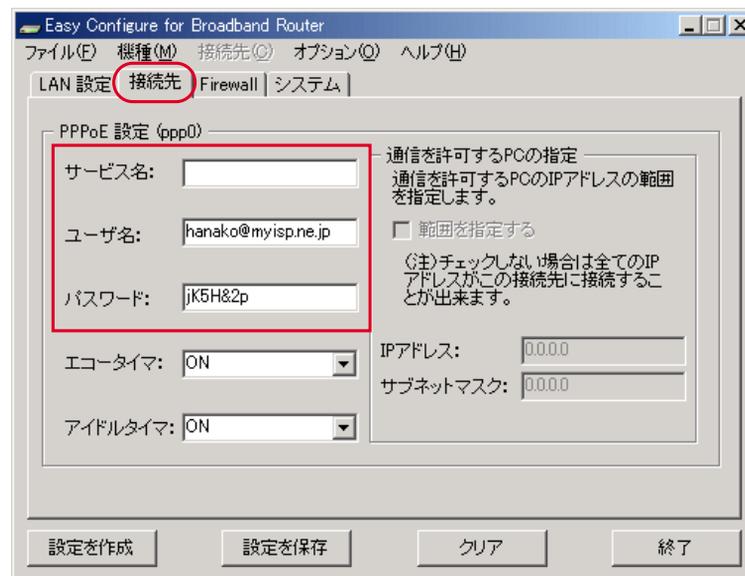


図 4.2.3 フレッツ ADSL 端末型接続の PPPoE 設定

## ○ サービス名

ADSL の工事業者からサービス名を指示された場合、その文字列を入力してください。何も指示されなかった場合、空欄のままにしてください。

## ○ ユーザ名

プロバイダーから指示された接続のユーザー名を入力してください。ここでは「hanako@myisp.ne.jp」と仮定します。

## ○ パスワード

プロバイダーから指示された接続のパスワードを入力してください。ここでは「jK5H&i2p」と仮定します。

## ○ その他の項目

デフォルトのままがかまいません。

4 「Firewall」ページは特に設定する項目はありません（すべてデフォルトのまま）。

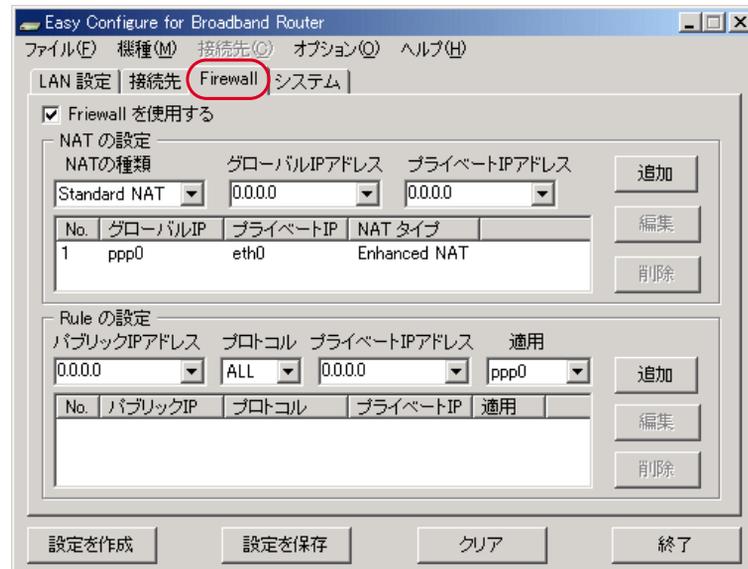


図 4.2.4 フレッツ ADSL 端末型接続の NAT とファイアウォール設定

5 「システム」を選択して、次の項目を設定し、最後に「設定を作成」をクリックしてください。

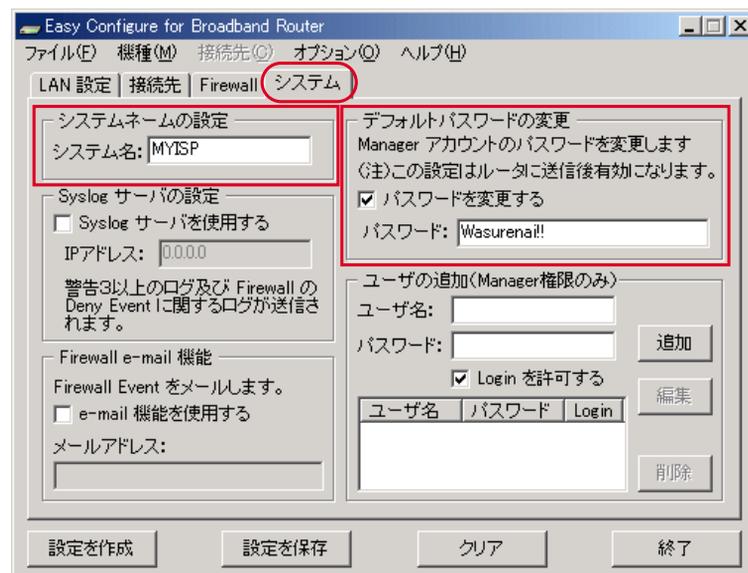


図 4.2.5 フレッツ ADSL 端末型接続のシステム設定

#### ○システム名

特に設定の必要はありませんが（空欄）、プロバイダーの名前などを入力しておくことがあります。ここでは「MYISP」を仮定します。

#### ○デフォルトパスワードの変更

本製品の設定を行うためのユーザー「manager」のパスワードを変更します（セキュリティのために、必ず変更してください）。「パスワードを変更する」をチェックし、「パスワード」を入力します。ここでは「Wasurenai!!」と仮定します。

#### ○その他の項目

デフォルトのままでもかまいません。

6 機種が正しいことを確認して、「はい」をクリックしてください。



図 4.2.6 適用機種の確認

7 本製品に送信される「設定」が表示されます。「設定を送信する」をクリックしてください。設定を開始してから設定を終えるまでの間は、本製品の電源を切らないでください。この手順を誤ると、正しく設定されません。

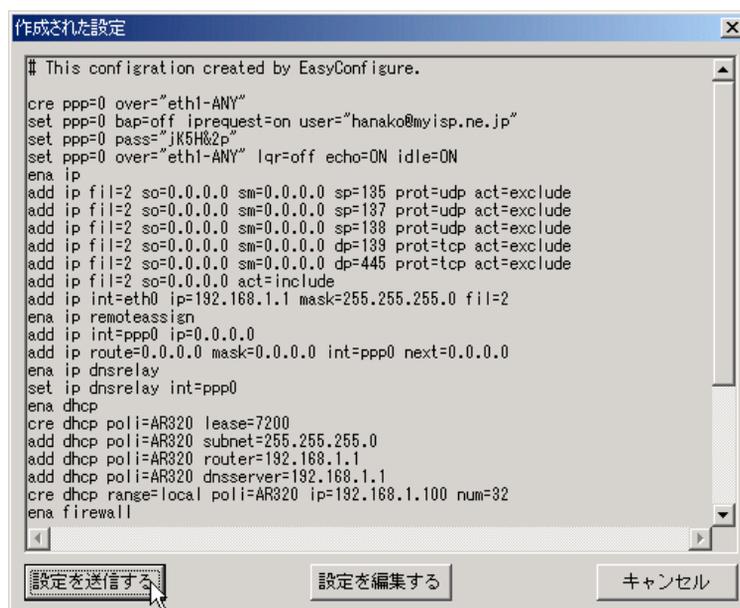


図 4.2.7 作成された設定

8 「ユーザ名」として「manager」、「パスワード」として「friend」\*6を入力し、「OK」をクリックしてください。



図 4.2.8 ログイン

\*6 ご購入直後の本製品の状態を仮定しています。前回の設定で、manager のパスワードを変更している場合は、変更されたパスワードを入力してください。

9 図 4.2.7 の設定コマンドが 1 行ずつ送信され、実行状況が表示されます。

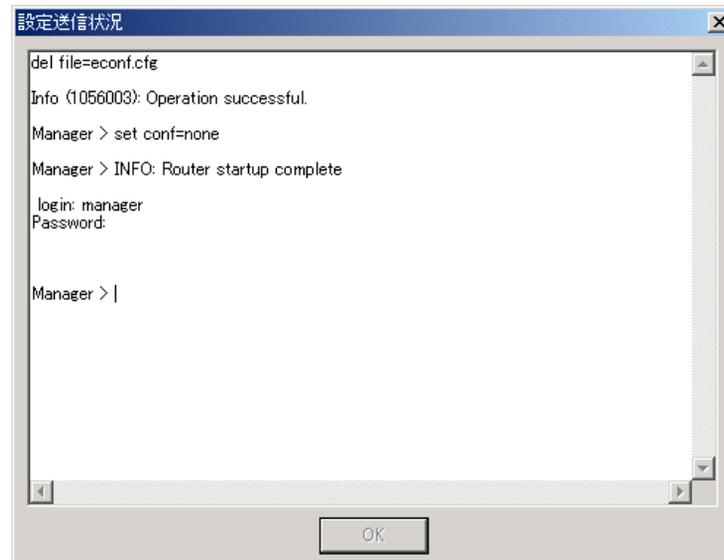


図 4.2.9 設定送信状況

10 「OK」をクリックしてください。



図 4.2.10 設定送信の完了

11 「図 4.2.9 設定送信状況」( p.17 )に戻ります。「OK」ボタンをクリックしてください。

12 「図 4.2.5 フレッツ ADSL 端末型接続のシステム設定」( p.15 )に戻ります。「終了」をクリックしてください。

## 5 フレッツ ADSL LAN 型 ( PPPoE ) で接続する

フレッツADSLを使用し、プロバイダーとLAN型接続の契約を結んだときの設定について説明します。

### 5.1 構成例

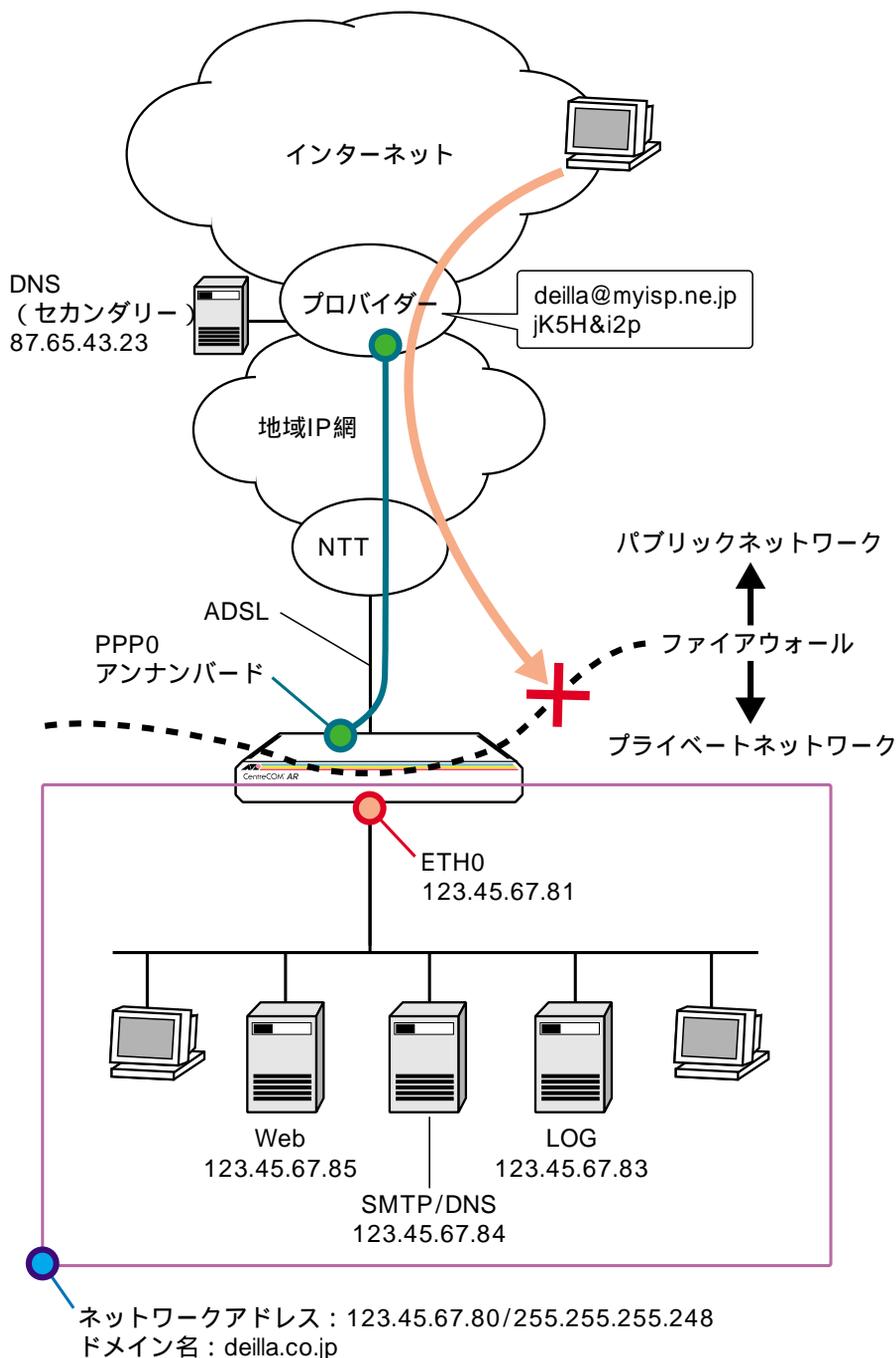


図 5.1.1 フレッツ ADSL LAN 型接続による構成例

## プロバイダーから提供される情報

以下の説明では、プロバイダーから下記の契約情報が与えられていると仮定します。実際の設定には、お客様の契約情報をご使用ください。

- ・ 接続のユーザー名：deilla@myisp.ne.jp
- ・ 接続のパスワード：jK5H&i2p
- ・ グローバル IP アドレス：123.45.67.80/255.255.255.248（8 個）
- ・ DNS サーバー（セカンダリー）：87.65.43.23

## 設定の方針

- ・ Web サーバー、メールサーバー（SMTP）、DNS サーバーをインターネットに公開します。メールサーバー、DNS サーバーはひとつのコンピューターを共用すると仮定します。
- ・ プライマリー DNS サーバーは社内に置き、セカンダリー DNS サーバーはプロバイダーのサービスを使うと仮定します。
- ・ NAT は使用せず、各サーバーにはプロバイダーから与えられたグローバル IP アドレスをそのまま割り当てます。
- ・ ファイアウォール機能により LAN 側の安全を確保します。ただし、Web サーバー、メールサーバー、DNS サーバーの該当ポートへのアクセスは許します。
- ・ ドメイン名として「deilla.co.jp」を取得していると仮定します。
- ・ LOG サーバーにログを送信します。
- ・ ファイアウォールイベントが発生したらメールで「hanako@123.45.67.84」に知らせます。
- ・ MS Networks のパケットの WAN 側への漏洩を阻止します。
- ・ インターネット側からの PING に応答しません。

## 5.2 設定手順

- 1 EasyConfigure を起動してください。



図 5.2.1 Easy Configure の起動

2 「LAN 設定」を選択し、次の項目を設定してください。

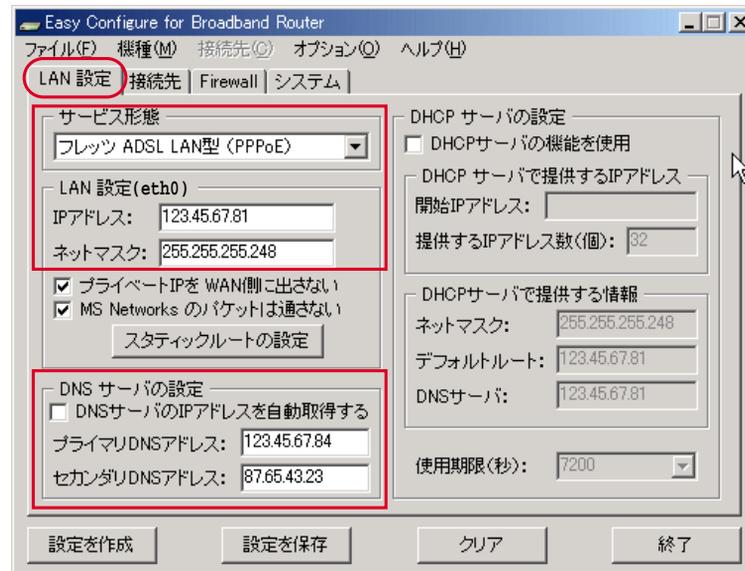


図 5.2.2 フレッツ ADSL LAN 型接続の LAN 設定

#### ○ サービス形態

「フレッツ ADSL LAN 型 (PPPoE)」を選択してください。

#### ○ LAN 設定 (eth0)

##### ・ IP アドレス

LAN 側のインターフェースにプロバイダーから提供されたグローバル IP アドレスのひとつを設定します。ここでは「123.45.67.81」を設定すると仮定します。

##### ・ ネットマスク

プロバイダーから提供されたグローバル IP アドレスのネットマスクを設定します。ここでは「255.255.255.248」を設定すると仮定します。

##### ・ スタティックルートの設定

デフォルトルートは、ppp0 (WAN 側) に向くように設定されています。

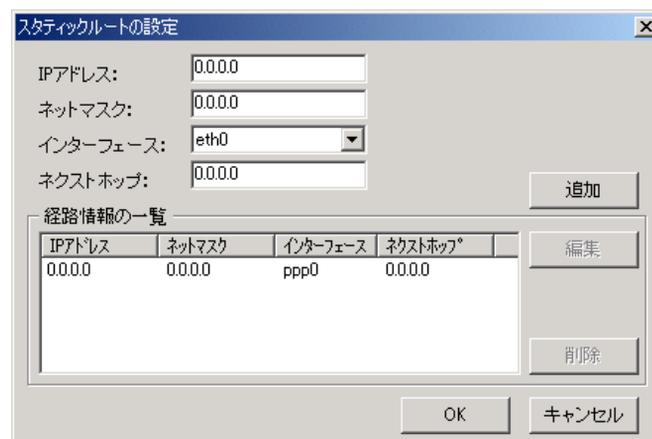


図 5.2.3 デフォルトルート

## ○ DNS サーバの設定

「DNS サーバの IP アドレスを自動取得する」のチェック「✓」を外し、DNS サーバの IP アドレスを設定します。ここでは「プライマリ DNS アドレス」として「123.45.67.84」（deilla.co.jp ドメイン内に設置）、「セカンダリ DNS アドレス」として「87.65.43.23」（プロバイダーに設置）を設定すると仮定します。

## ○ その他の項目

その他の項目はデフォルトのままかまいません。

3 「接続先」を選択し、「サービス名」「ユーザ名」「パスワード」を入力してください。

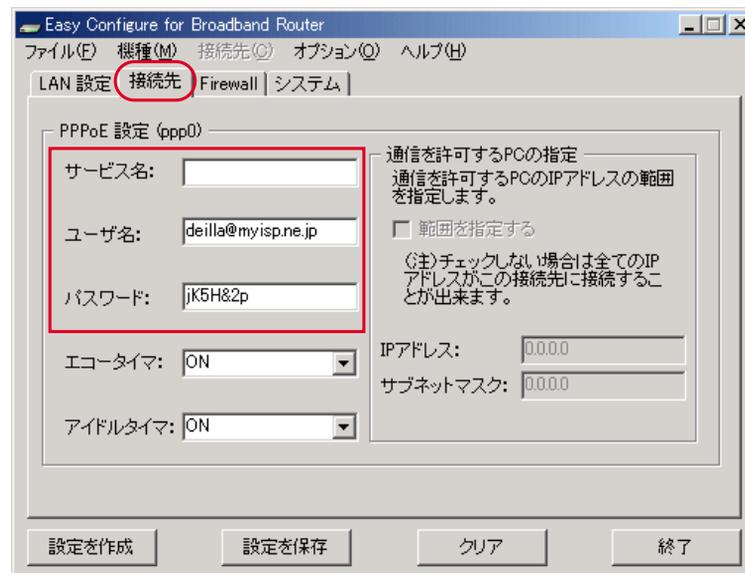


図 5.2.4 フレッツ ADSL LAN 型接続の PPPoE 設定

## ○ サービス名

ADSL の工事業者からサービス名を指示された場合、その文字列を入力してください。何も指示されなかった場合、空欄のままにしてください。

## ○ ユーザー名

プロバイダーから提供された接続のユーザー名を入力してください。ここでは「deilla@myisp.ne.jp」を仮定します。

## ○ パスワード

プロバイダーから指示された接続のパスワードを入力してください。ここでは「jK5H&i2p」と仮定します。

## ○ その他の項目

その他の項目はデフォルトのままかまいません。

4 「Firewall」を選択し、次のように設定します。



図 5.2.5 フレッツ ADSL LAN 型接続のファイアウォール設定

○ Firewall を使用する

チェック「✓」します。

○ NAT の設定

NAT は使用しません（設定内容は空欄のまま）。

○ Rule の設定

インターネット側からの次のパケットを通過させます。インターネットの全ホストからのアクセスを許すので、「パブリック IP アドレス」は「ppp0」を設定します。「適用」は常に「ppp0」となります。

- ・ 123.45.67.85（Web サーバー）のポート 80 に向かう TCP パケット（HTTP）
- ・ 123.45.67.84（DNS サーバー）のポート 53 に向かう UDP パケット（DNS）
- ・ 123.45.67.84（メールサーバー）のポート 25 に向かう TCP パケット（SMTP）

5 「システム」を選択して、次のように設定し、最後に「設定を作成」をクリックしてください。

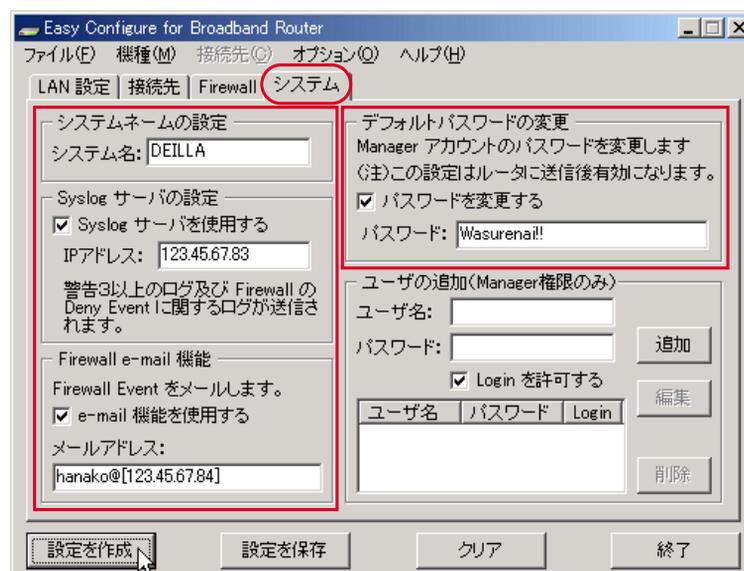


図 5.2.6 フレッツ ADSL LAN 型接続のシステム設定

## ○システム名

特に設定の必要はありませんが、プロバイダーの名称や自ドメイン名などを入れておくと便利なことがあります。ここでは「DEILLA」を仮定します。

## ○Syslog サーバの設定

警告 3 以上のログと、ファイアウォール機能が WAN 側からのアクセスを拒否したときのログを Syslog サーバに送信します。「Syslog サーバを使用する」をチェックし、Syslog サーバの IP アドレスを設定してください。ここでは「123.45.67.83」を仮定します。

## ○Firewall e-mail 機能

ファイアウォールイベントが発生するごとに、イベントを知らせるメールを送信します。「e-mail 機能を使用する」をチェックし、イベントを知らせるメールの宛先アドレスを設定してください。ここでは「hanako@[123.45.67.84]」を仮定します（メールアドレスとして IP アドレスを指定する場合は [] でくくります）。「hanako@deilla.co.jp」のような FQDN 形式を使用する場合、本製品は名前解決のために「LAN 設定」ページで設定した DNS サーバを参照します。

6 機種が正しいことを確認して、「はい」をクリックしてください。



図 5.2.7 適用機種の確認

7 本製品に送信される「設定」が表示されます。「設定を送信する」をクリックしてください。

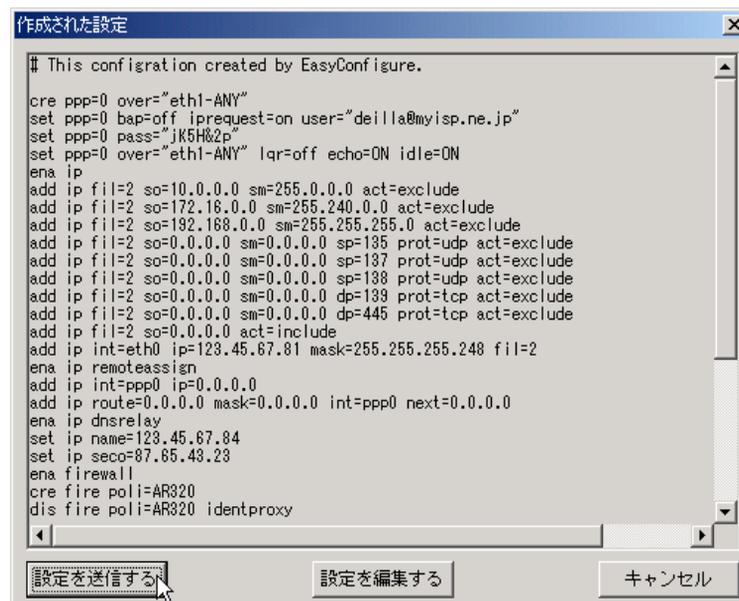


図 5.2.8 作成された設定

- 8 「ユーザ名」として「manager」、「パスワード」として「friend」\*7を入力し、「OK」をクリックしてください。



図 5.2.9 ログイン

- 9 「図 5.2.8 作成された設定」(p.23)の設定コマンドが1行ずつ送信され、実行状況が表示されます。

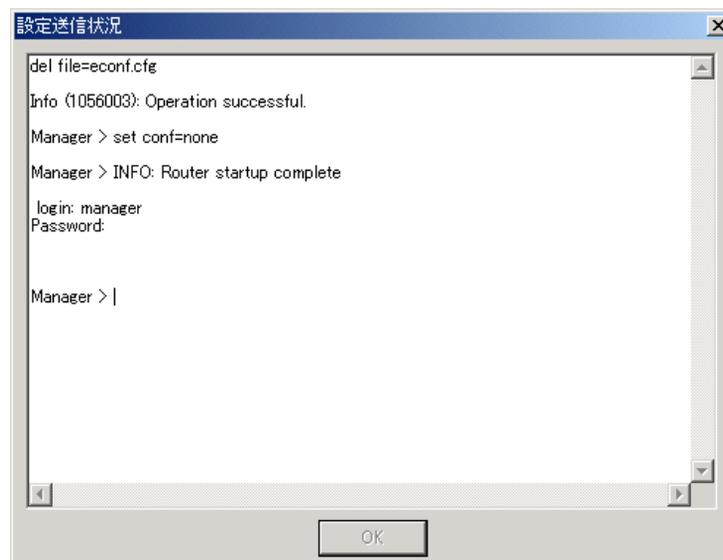


図 5.2.10 設定送信状況

- 10 「OK」をクリックしてください。



図 5.2.11 設定送信の完了

- 11 「図 5.2.10 設定送信状況」(p.24)に戻ります。「OK」ボタンをクリックしてください。
- 12 「図 5.2.6 フレッツ ADSL LAN 型接続のシステム設定」(p.22)に戻ります。「終了」をクリックしてください。

\*7 ご購入直後の本製品の状態を仮定しています。前回の設定で、manager のパスワードを変更している場合は、変更されたパスワードを入力してください。

## 6 B フレッツ端末型 ( PPPoE ) で接続する

B フレッツを使用し、プロバイダーと端末型の契約を結んだときの設定について説明します。

### 6.1 概要

B フレッツは光ケーブルを使用し、10Mbps または 100Mbps の伝送速度でプロバイダーとの接続を行うサービスです。また、B フレッツのタイプによって 2 つまたは 4 つの同時 PPP セッションを張ることができます。

### 6.2 設定手順

B フレッツを使用し、プロバイダーと端末型接続の契約を結んだ場合の手順は、「4 フレッツ ADSL 端末型 ( PPPoE ) で接続する」( p.12 ) と同じです。

「LAN 設定」ページの「サービス形態」で「B フレッツ端末型 ( PPPoE )」を選択し、他の項目は「4 フレッツ ADSL 端末型 ( PPPoE ) で接続する」( p.12 ) と同様に設定してください。

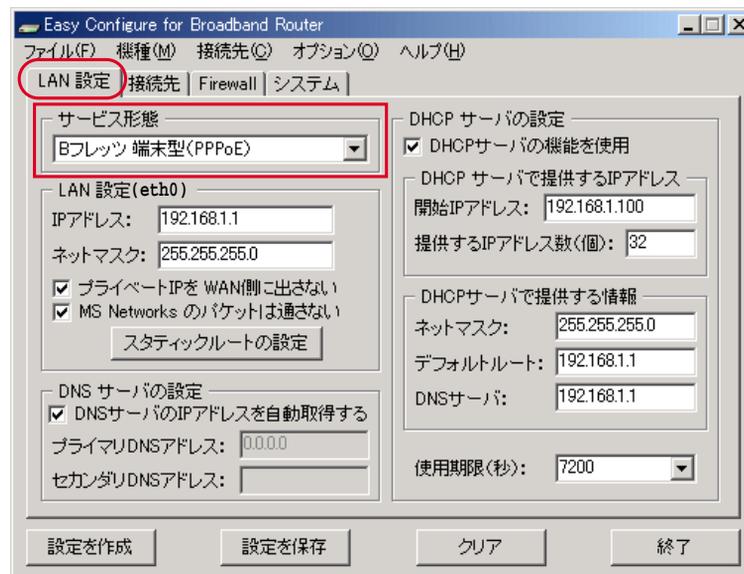


図 6.2.1 B フレッツ端末型接続 ( PPPoE )

## 7 B フレッツ LAN 型 ( PPPoE ) で接続する

B フレッツを使用し、プロバイダーと LAN 型接続の契約を結んだときの設定について説明します。

### 7.1 概要

B フレッツは光ケーブルを使用し、10Mbps または 100Mbps の伝送速度でプロバイダーとの接続を行うサービスです。また、B フレッツのタイプによって 2 つまたは 4 つの同時 PPP セッションを張ることができます。

### 7.2 設定手順

B フレッツを使用し、プロバイダーと LAN 型接続の契約を結んだ場合の手順は、「5 フレッツ ADSL LAN 型 ( PPPoE ) で接続する」(p.18) と同じです。

「LAN 設定」ページの「サービス形態」で「B フレッツ LAN 型 ( PPPoE )」を選択し、他の項目は「5 フレッツ ADSL LAN 型 ( PPPoE ) で接続する」(p.18) と同様に設定してください。

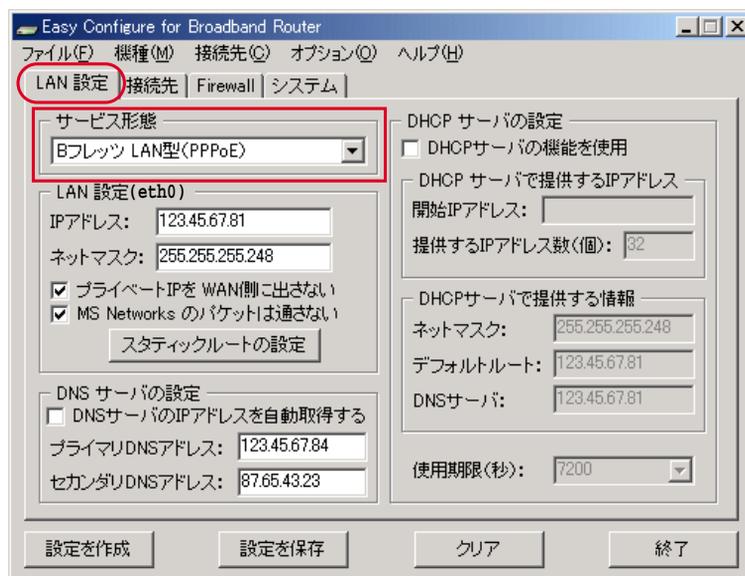


図 7.2.1 B フレッツ LAN 型接続 ( PPPoE )

## 8 CATV インターネット端末型 (DHCP) で接続する

ケーブル TV 業者と端末型のインターネット接続の契約を結んだときの設定について説明します。

### 8.1 概要

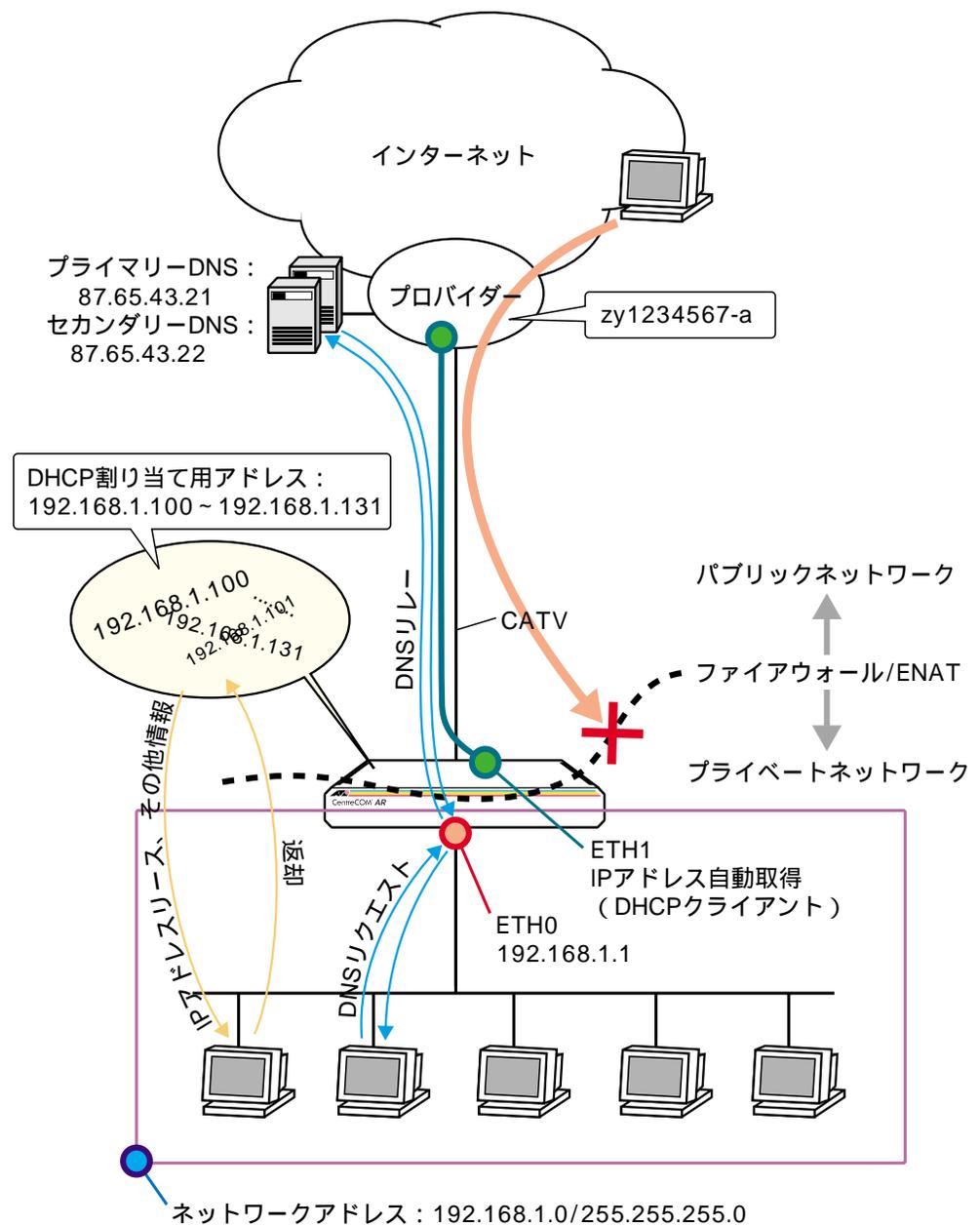


図 8.1.1 CATV インターネット端末型接続の構成例

#### プロバイダーから提供される情報

以下の説明では、プロバイダーから下記の契約情報が与えられていると仮定します。実際の設定には、お客様の契約情報をご使用ください。コンピューター名は、接続の際の認証に使用される文字列です (コンピューター名が提供されないプロバイダーもあります。その場合、設定は不要です)。

- ・ コンピューター名 : zy1234567-a

## 設定の方針

- ・ ファイアウォールを利用し、外部からの不正アクセスを遮断しつつ、内部からは自由にインターネットへのアクセスができるようにします。
- ・ EnhancedNAT を使用し、LAN 側ネットワークのプライベート IP アドレスをプロバイダーから与えられるグローバル IP アドレスに変換します。これにより、LAN に接続された複数のコンピュータからインターネットへの同時アクセスが可能になります。
- ・ 本製品の WAN 側のインターフェース (eth1) を DHCP クライアントとして動作させ、プロバイダーから IP アドレス、DNS サーバーアドレスを自動的に取得します。
- ・ 本製品を DHCP サーバーとして動作させ、LAN 側コンピュータに IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバーアドレスの情報を提供します。
- ・ 本製品の DNS リレー機能により、LAN 側コンピュータからの DNS リクエストを、プロバイダーの DNS サーバーに転送します。上記 DHCP サーバーの設定により、LAN 側コンピュータに対しては、DNS サーバーアドレスとしてルーター自身の IP アドレスを教えます。
- ・ MS Networks のパケットの WAN 側への漏洩を阻止します。
- ・ インターネット側からの PING に応答しません。

## 8.2 設定手順

- 1 EasyConfigure を起動してください。



図 8.2.1 Easy Configure の起動

- 2 「LAN 設定」を選択し、次の項目を設定してください。

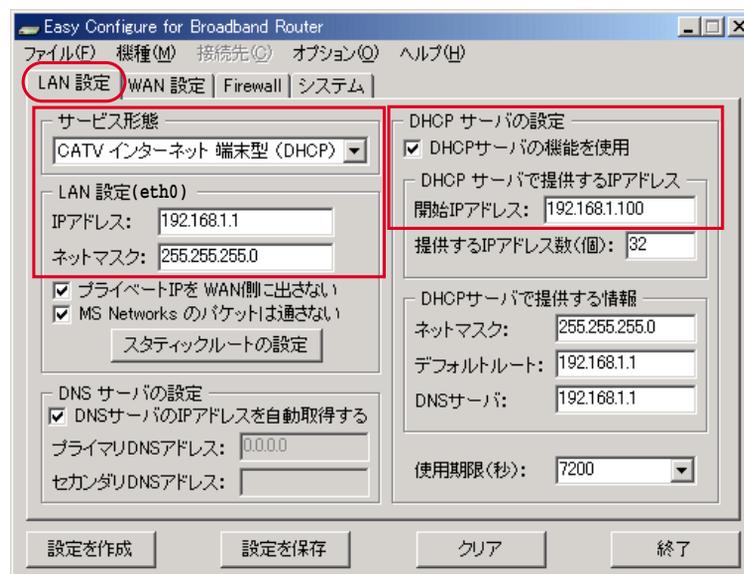


図 8.2.2 CATV インターネット端末型接続の LAN 設定

## ○ サービス形態

「CATV インターネット端末型 (DHCP)」を選択してください。

## ○ LAN 設定 (eth0)

LAN 側の IP アドレス、ネットマスクを設定してください。IP アドレスはプライベート IP アドレスとなります。ここでは「192.168.1.1」「255.255.255.0」を入力すると仮定します。

## ○ DHCP サーバの設定

「DHCP サーバの機能を使用」をチェック「✓」し、「開始 IP アドレス」を入力してください。ここでは「192.168.1.100」を入力すると仮定します。

## ○ その他の項目

デフォルトのままがかまいません。

3 「WAN 設定」ページは特に設定する項目はありません (すべてデフォルトのまま)。

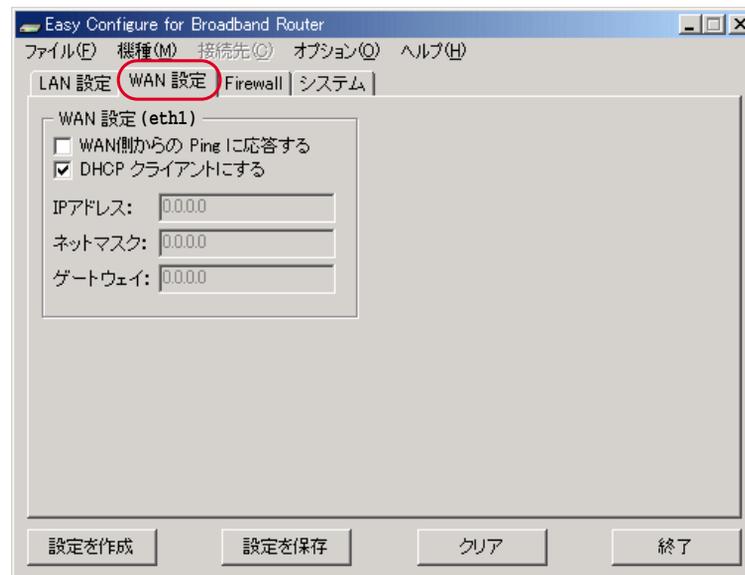


図 8.2.3 CATV インターネット端末型接続の WAN 設定

4 「Firewall」ページは特に設定する項目はありません（すべてデフォルトのまま）。

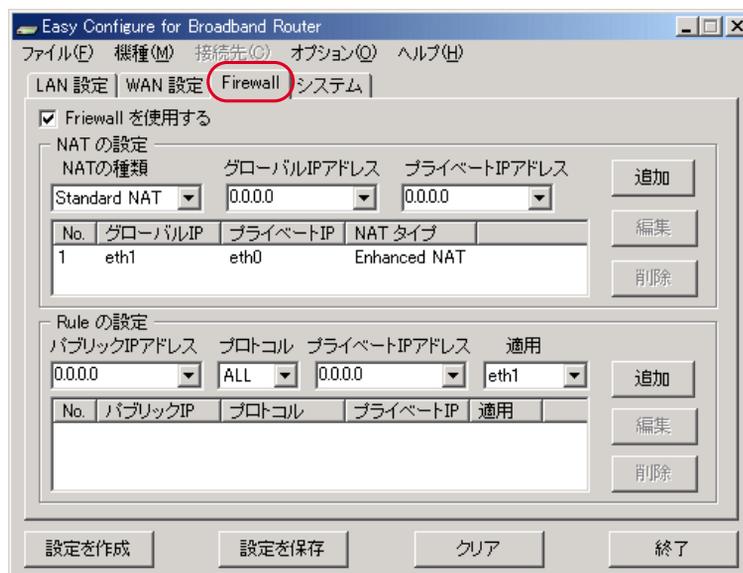


図 8.2.4 CATV インターネット端末型接続の NAT とファイアウォールの設定

5 「システム」を選択して、次の項目を設定し、最後に「設定を作成」をクリックしてください。

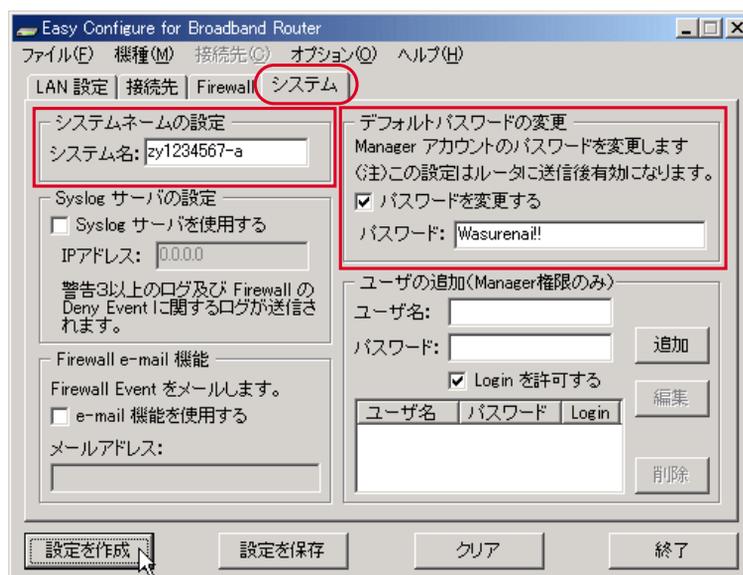


図 8.2.5 CATV インターネット端末型接続のシステム設定

- システム名  
 プロバイダーから提供された「コンピューター名」を入力します。ここでは「zy1234567-a」を仮定します。提供されていない場合、設定は不要です（空欄にしてください）
- パスワード  
 本製品の設定を行うためのユーザー「manager」のパスワードを変更します（セキュリティのために、必ず変更してください）。「パスワードを変更する」をチェックし、「パスワード」を入力します。ここでは「Wasurenai!!」と仮定します。
- その他の項目  
 デフォルトのままでもかまいません。

6 機種が正しいことを確認して、「はい」をクリックしてください。



図 8.2.6 適用機種の確認

7 本製品に送信される「設定」が表示されます。「設定を送信する」をクリックしてください。設定を開始してから設定を終えるまでの間は、本製品の電源を切らないでください。この手順を誤ると、正しく設定されません。

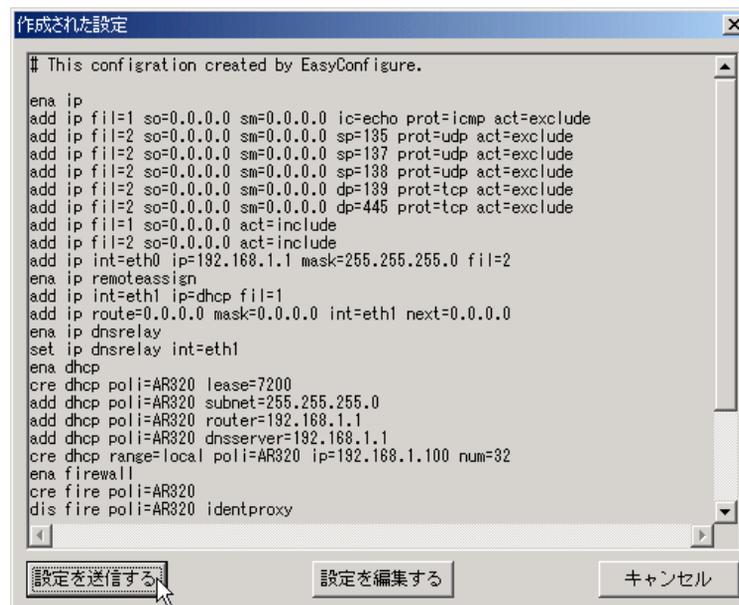


図 8.2.7 作成された設定

8 「ユーザ名」として「manager」、「パスワード」として「friend」\*8を入力し、「OK」をクリックしてください。



図 8.2.8 ログイン

\*8 ご購入直後の本製品の状態を仮定しています。前回の設定で、manager のパスワードを変更している場合は、変更されたパスワードを入力してください。

9 「図 8.2.7 作成された設定」( p.31 )の設定コマンドが 1 行ずつ送信され、実行状況が表示されます。

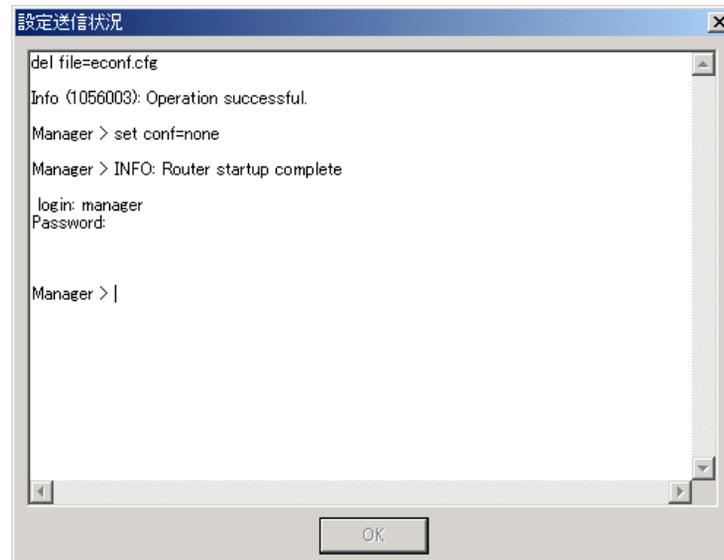


図 8.2.9 設定送信状況

10 「OK」をクリックしてください。



図 8.2.10 設定送信の完了

11 「図 8.2.9 設定送信状況」( p.32 )に戻ります。「OK」ボタンをクリックしてください。

12 「図 8.2.5 CATV インターネット 端末型接続のシステム設定」( p.30 )に戻ります。「終了」をクリックしてください。

## 9 OCN ADSL アクセス IP1 プラン ( PPPoE )

OCN ADSL アクセス IP1 プランを利用する場合の設定について説明します。

### 9.1 概要

OCN ADSL アクセス IP1 プランは、常に固定的な IP アドレスが割り当てられる端末型接続のサービスです<sup>\*9</sup>。IP アドレスが固定的であるため、アドレスポート変換を使用して、LAN 上にある Web サーバーなどをインターネットに公開することができます。

### 9.2 設定手順

設定手順は、「4 フレッツ ADSL 端末型 ( PPPoE ) で接続する」( p.12 ) と同じです。

「LAN 設定」ページの「サービス形態」で「OCN ADSL アクセス IP1 プラン ( PPPoE )」を選択し、他の項目は「4 フレッツ ADSL 端末型 ( PPPoE ) で接続する」( p.12 ) と同様に設定してください。

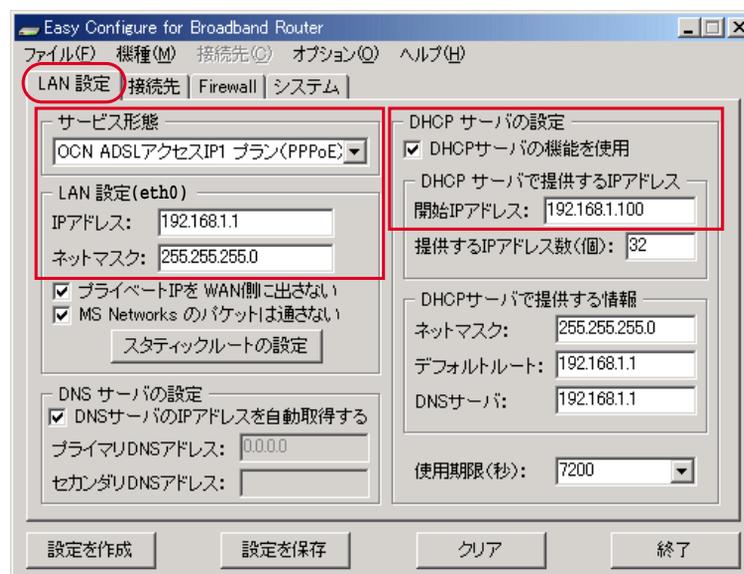


図 9.2.1 OCN ADSL アクセス IP1 プランの LAN 設定

\*9 通常の端末型接続サービスでは、プロバイダーに接続するごとに動的に IP アドレスが割り当てられます。

# 10 スーパー OCN DSL アクセス (Ethernet)

スーパー OCN DSL アクセスを利用する場合の設定について説明します。

## 10.1 概要

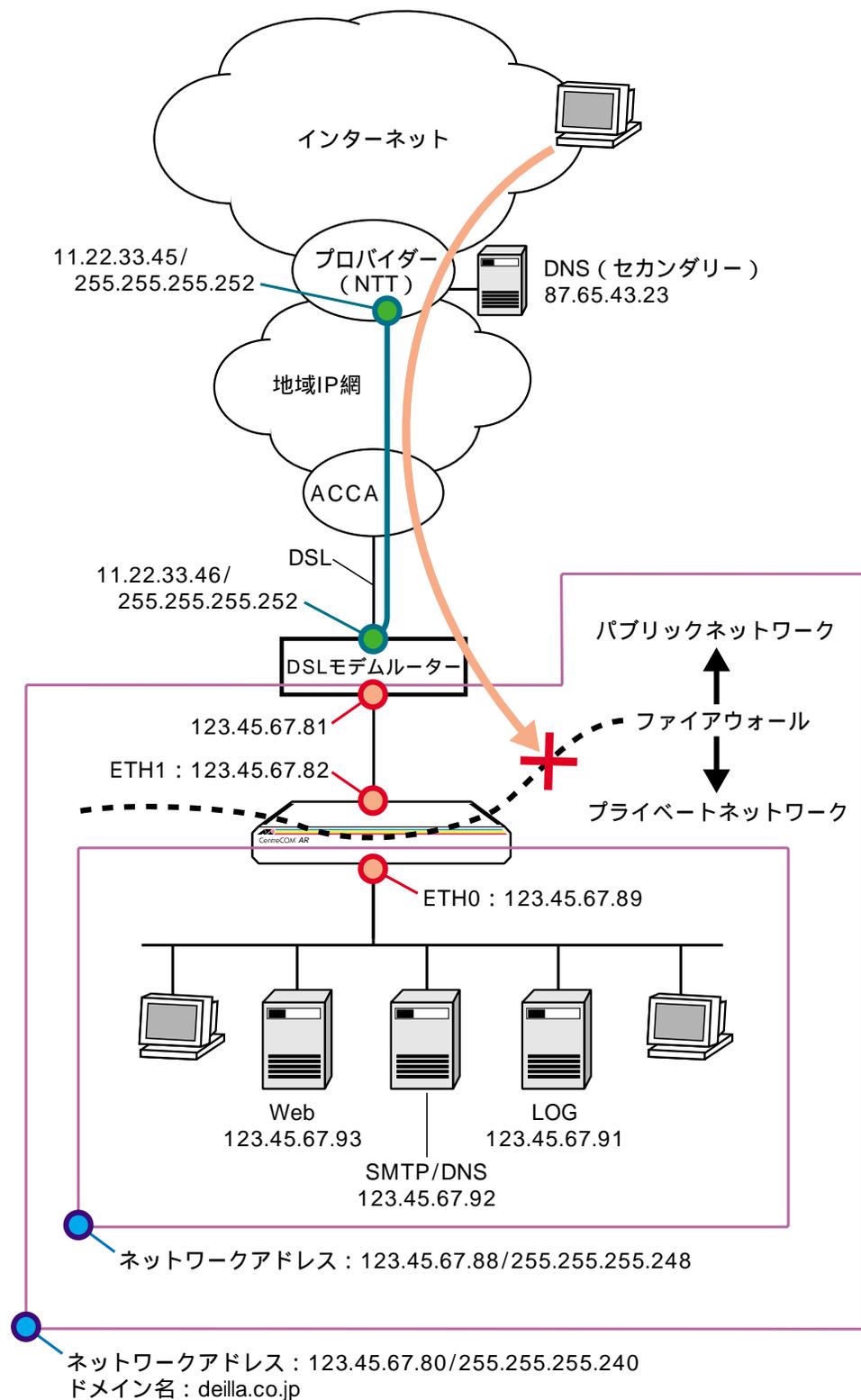


図 10.1.1 スーパー OCN DSL アクセスの構成例

## 10.2 設定手順

### プロバイダーから提供される情報

以下の説明では、プロバイダーから下記の契約情報が与えられていると仮定します。実際の設定には、お客様の契約情報をご使用ください。

- ・ DSL モデムルーターの WAN 側 IP アドレスとサブネット：11.22.33.46/255.255.255.0
- ・ プロバイダー側ルーターの IP アドレスとサブネット：11.22.33.45/255.255.255.0
- ・ グローバル IP アドレス：123.45.67.80/255.255.255.240（16 個）
- ・ DNS サーバー（セカンダリー）：87.65.43.23

### 設定の方針

- ・ プロバイダーから与えられたグローバル IP アドレスの中で「255.255.255.248」のサブネットを切り、後半のアドレス群（123.45.67.88 ~ 123.45.67.95）を本製品の LAN 側のために使用します。ルーティングは、プロクシー ARP によって行います。
- ・ Web サーバー、メールサーバー（SMTP）、DNS サーバーをインターネットに公開します。メールサーバー、DNS サーバーはひとつのコンピューターを共用すると仮定します。
- ・ プライマリー DNS サーバーは社内に置き、セカンダリー DNS サーバーはプロバイダーのサービスを使うと仮定します。
- ・ NAT は使用せず、各サーバーにはプロバイダーから与えられたグローバル IP アドレスをそのまま割り当てます。
- ・ ファイアウォール機能により LAN 側の安全を確保します。ただし、Web サーバー、メールサーバー、DNS サーバーの該当ポートへのアクセスは許します。
- ・ ドメイン名として「deilla.co.jp」を取得していると仮定します。
- ・ LOG サーバーにログを送信します。
- ・ ファイアウォールイベントが発生したらメールで「hanako@123.45.67.92」に知らせます。
- ・ MS Networks のパケットの WAN 側への漏洩を阻止します。
- ・ インターネット側からの PING に応答しません。

## 10.3 設定手順

- 1 EasyConfigure を起動してください。



図 10.3.1 Easy Configure の起動

2 「LAN 設定」を選択し、次の項目を設定してください。

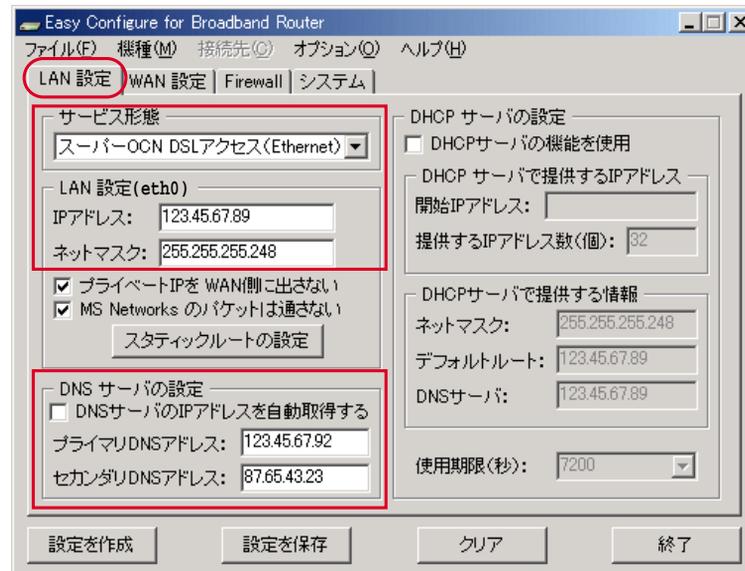


図 10.3.2 スーパー OCN DSL アクセスの LAN 設定

○ サービス形態

「スーパー OCN DSL アクセス (Ethernet)」を選択してください。

○ LAN 設定 (eth0)

- ・ IP アドレス  
プロバイダーから提供されたグローバル IP アドレスのうち後半のひとつを、LAN 側のインターフェースに設定します。ここでは「123.45.67.89」を設定すると仮定します。
- ・ ネットマスク  
プロバイダーから提供されたグローバル IP アドレスに対して、サブネットマスクを切り取ります。ここでは「255.255.255.248」を設定すると仮定します。
- ・ スタティックルートの設定  
デフォルトルートは、eth1 (WAN 側) に向くように設定されています。

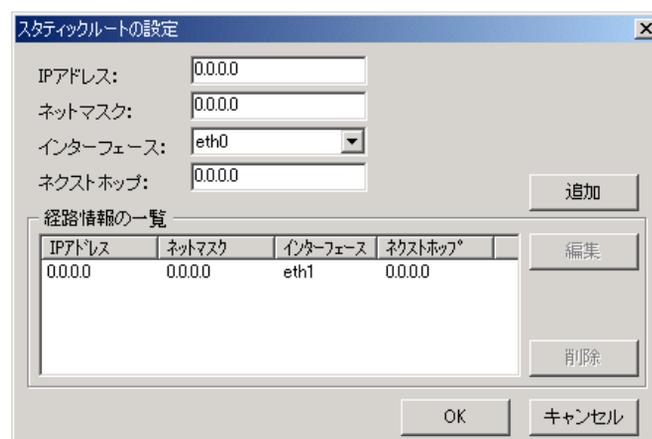


図 10.3.3 デフォルトルート

## ○ DNS サーバの設定

「DNS サーバの IP アドレスを自動取得する」のチェック「✓」を外し、DNS サーバの IP アドレスを設定します。ここでは「プライマリ DNS アドレス」として「123.45.67.92」（deilla.co.jp ドメイン内に設置）、「セカンダリ DNS アドレス」として「87.65.43.23」（プロバイダーに設置）を設定すると仮定します。

## ○ その他の項目

その他の項目はデフォルトのままかまいません。

3 「接続先」を選択し、下記のように設定してください。

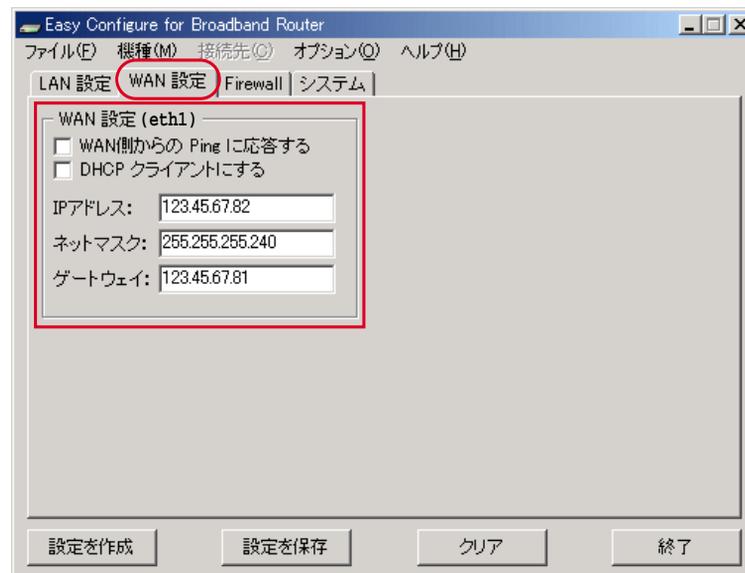


図 10.3.4 スーパー OCN DSL アクセスの PPPoE 設定

## ○ DHCP クライアントにする

チェックを外します（デフォルト）。

## ○ IP アドレス

プロバイダーから提供されたグローバル IP アドレスのうち前半のひとつを、LAN 側のインターフェースに設定します。ここでは「123.45.67.82」を設定すると仮定します。

## ○ ネットマスク

プロバイダーから提供されたグローバル IP アドレスのネットマスクを入力してください。ここでは「255.255.255.240」を仮定します。

## ○ ゲートウェイ

DSL モデムルーターの LAN 側インターフェースの IP アドレス<sup>\*10</sup>を入力します。ここでは「123.45.67.81」を仮定します。

\*10 DSL モデムルーターの LAN 側インターフェースには、あらかじめプロバイダーから提供されたグローバル IP アドレスのうち前半のひとつを設定しておきます。ここにおけるネットマスクは「255.255.255.240」です。

4 「Firewall」を選択し、次のように設定します。

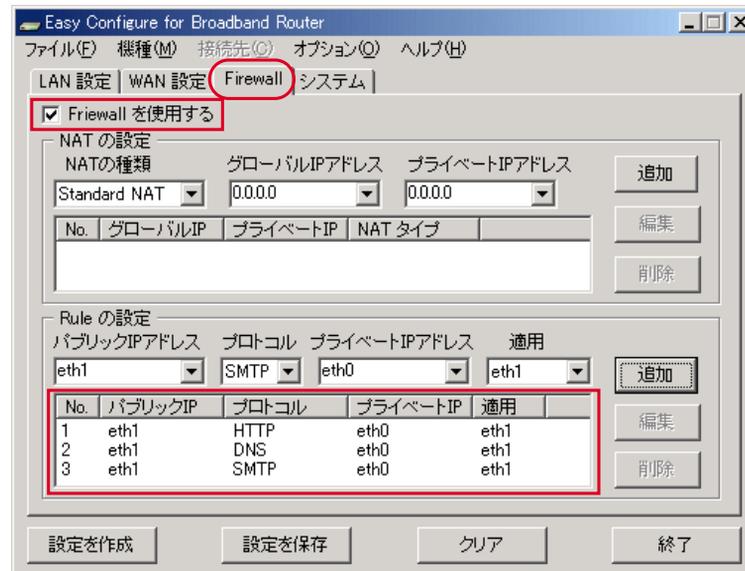


図 10.3.5 スーパー OCN DSL アクセスのファイアウォール設定

○ Firewall を使用する  
チェック「✓」します。

○ NAT の設定  
NAT は使用しません（設定内容は空欄のまま）。

○ Rule の設定  
インターネット側から LAN 側に向かう、終点ポート番号 80 の TCP パケット（HTTP）、終点ポート番号 83 の UDP パケット（DNS）、終点ポート 25 の TCP パケット（SMTP）を通過させます。インターネットの全ホストからのアクセスを許すので、「パブリック IP アドレス」は「eth1」を設定します。「適用」は常に「eth1」となります。

5 「システム」を選択して、次のように設定し、最後に「設定を作成」をクリックしてください。

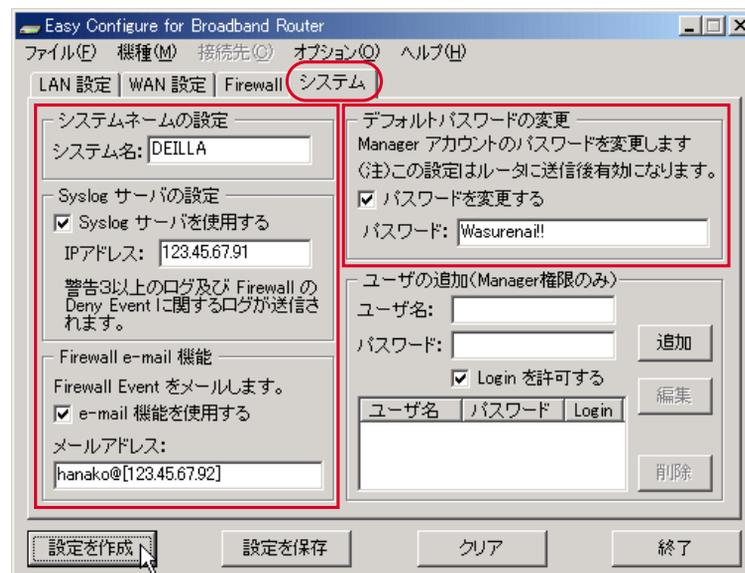


図 10.3.6 スーパー OCN DSL アクセスのシステム設定

## ○システム名

特に設定の必要はありませんが、プロバイダーの名称や自ドメイン名などを入れておくと便利なことがあります。ここでは「DEILLA」を仮定します。

## ○Syslog サーバの設定

警告 3 以上のログと、ファイアウォール機能が WAN 側からのアクセスを拒否したときのログを Syslog サーバに送信します。「Syslog サーバを使用する」をチェックし、Syslog サーバの IP アドレスを設定してください。ここでは「123.45.67.91」を仮定します。

## ○Firewall e-mail 機能

ファイアウォールイベントが発生するごとに、イベントを知らせるメールを送信します。「e-mail 機能を使用する」をチェックし、イベントを知らせるメールの宛先アドレスを設定してください。ここでは「hanako@[123.45.67.92]」を仮定します（メールアドレスとして IP アドレスを指定する場合は [] でくくります）。「hanako@deilla.co.jp」のような FQDN 形式を使用する場合、本製品は名前解決のために「LAN 設定」ページで設定した DNS サーバを参照します。

6 機種が正しいことを確認して、「はい」をクリックしてください。



図 10.3.7 適用機種の確認

7 本製品に送信される「設定」が表示されます。「設定を送信する」をクリックしてください。

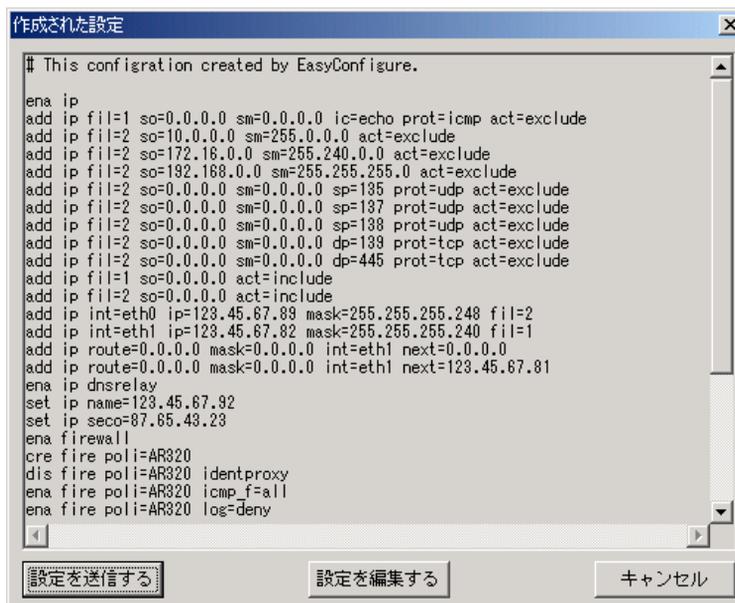


図 10.3.8 作成された設定

- 8 「ユーザ名」として「manager」、「パスワード」として「friend」\*11を入力し、「OK」をクリックしてください。



図 10.3.9 ログイン

- 9 「図 5.2.8 作成された設定」(p.23)の設定コマンドが1行ずつ送信され、実行状況が表示されます。

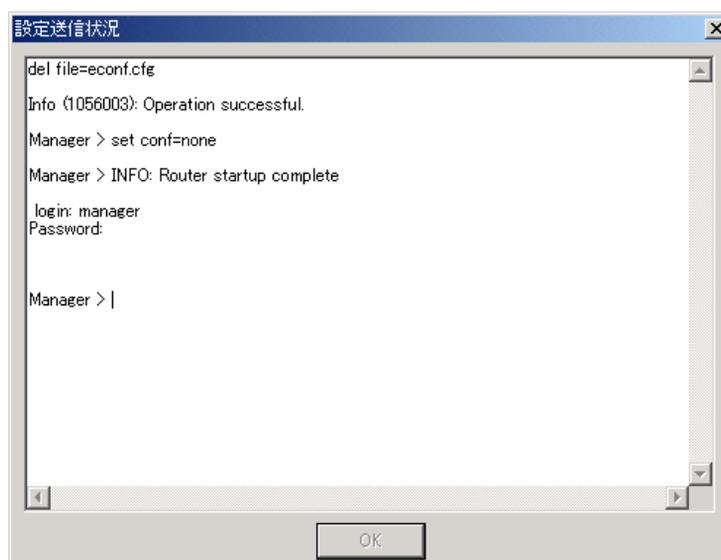


図 10.3.10 設定送信状況

- 10 「OK」をクリックしてください。



図 10.3.11 設定送信の完了

- 11 「図 10.3.10 設定送信状況」(p.40)に戻ります。「OK」ボタンをクリックしてください。
- 12 「図 10.3.6 スーパー OCN DSL アクセスのシステム設定」(p.38)に戻ります。「終了」をクリックしてください。

\*11 ご購入直後の本製品の状態を仮定しています。前回の設定で、manager のパスワードを変更している場合は、変更されたパスワードを入力してください。

# 1.1 Easy Configure の操作

## 1.1.1 基本操作

### 起動

- 1 EConf4BR.exe をダブルクリックしてください。

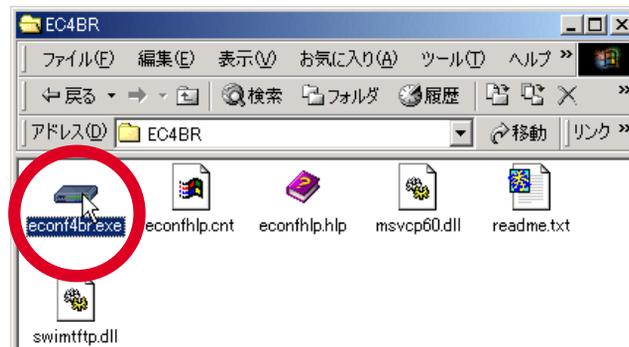


図 1.1.1.1 Easy Configure の起動

- 2 下記のウィンドウが現れます。ウィンドウには、「LAN 設定」、「接続先」または「WAN 設定」、「Firewall」、「システム」の 4 ページがあり、お客様の環境に応じて、プルダウンメニューの選択、ボックスのチェック「✓」、入力欄への文字入力を行います。

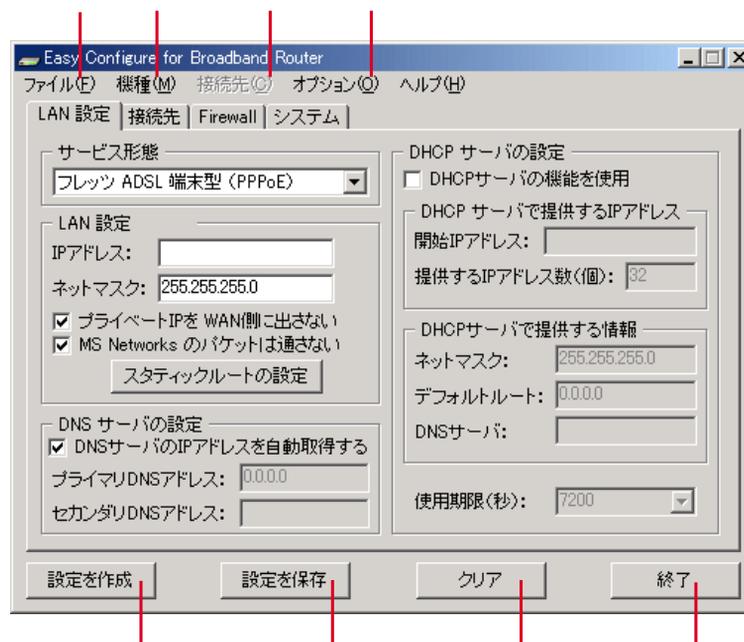


図 1.1.1.2 起動画面

## 「ファイル」メニュー

設定ファイルの作成、読み込み、保存、EasyConfigure の終了を行うメニューです。



図 11.1.1.3 ファイルメニュー

- 新しい設定を作成  
新規に設定を作成します。項目が入力されていた場合は破棄され、各項目はデフォルトに戻ります。
- 設定ファイルを開く  
次項の「設定に名前を付けて保存」や「設定を保存」ボタンにより、コンピューターに保存した設定ファイルを開きます。現在開いている設定ファイル名が、タイトルバーに表示されます（図 11.1.4）。AR410V2 用に作成された設定ファイルを読み込むと、機種を選択（図 2.0.4、p.10）が AR410V2 に切り替わりますのでご注意ください（AR320 に戻すには、econf.ini を削除して、ECONF4BR.EXE を起動してください。「機種を選択」ダイアログボックスが表示されます）。
- 設定に名前を付けて保存  
作成した設定に名前を付け、ファイルとしてコンピューターに保存します。ファイル名の拡張子は「CFG」です（拡張子「ECF」の同名のファイルが作成されますが削除しないでください）。保存した設定ファイル名は、タイトルバーに表示されます。



図 11.1.1.4 設定ファイル名の指定

- 終了  
Easy Configure を終了します。

## 「接続先」メニュー

PPPoE の接続先を追加、削除するメニューです。「LAN 接続」ページの「サービス形態」で「B フレッツ 端末型 (PPPoE)」または「B フレッツ LAN 型 (PPPoE)」\*12 を選択したときのみ使用できます。



図 11.1.1.5 接続先の追加（B フレッツ）

\*12 B フレッツ・ビジネスタイプでは同時に 4 本の PPP セッション、ベーシックタイプでは同時に 2 本の PPP セッションを張ることができます。

## ● 追加

「追加」をクリックするごとに、新たな「接続先」ページが追加され、追加した順番に番号が振られます。デフォルトで存在している「接続先」ページは「接続先1」となります（図 11.1.6）。

## ● 削除

指定した「接続先」ページを「削除」します。削除したい「接続先」のタブをクリックし、「削除」をクリックしてください。

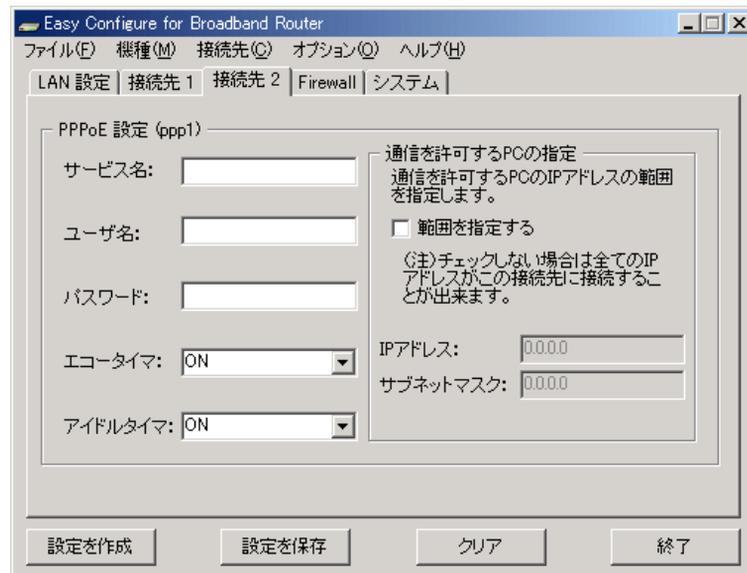


図 11.1.6 複数の「接続先」ページ

## 「オプション」メニュー

設定ファイルの送信方法の指定、シリアルポートの設定、本製品に関するシステム情報取得を実行するメニューです。



図 11.1.7 オプションメニュー

## ● 送信方法

設定ファイルの本製品への送信方法を指定します（「図 1.3.1 Easy Configure の動作」(p.8)）。

## ○ シリアルポート経由

コンピューターのシリアルポートを経由して、設定ファイルを送信します。通常は、「シリアルポート経由」を選択してください（デフォルト）。使用するシリアルポート、通信速度の変更は、「シリアルポート経由」を選択して、「設定」をクリックしてください。

## ○ IP ネットワーク経由

IP ネットワークを経由し TELNET と TFTP を使用して、設定ファイルを送信します。IP ネットワーク経由で設定ファイルを送信するためには、あらかじめ本製品のイーサネットポート（eth0） Easy Configure を実行しているコンピューターに IP アドレスが設定されていなければなりません。

## ○設定

「シリアルポート経由」が選択された状態で「設定」をクリックすると、次のダイアログボックスが現れます。



図 11.1.8 シリアルポートの設定

- ・ポート  
COM1、COM2、COM3、COM4、COM5 から使用するシリアルポートを指定してください。デフォルトは「COM1」です。
- ・通信速度  
110、300、600、1200、2400、4800、9600、14400、19200、38400、57600、115200bps から通信速度を指定してください。デフォルトは「9600」です（本製品のデフォルトの通信速度は、9600bps です）。

「IP ネットワーク 経由」が選択された状態で「設定」をクリックすると、次のダイアログボックスが現れ、コンピューターに設定されている現在の IP アドレスが確認できます。この IP アドレスは、本製品の LOAD コマンドに引き渡すパラメーターとして使用されます。この IP アドレスを変更しないでください。



図 11.1.9 ネットワークの設定

## ●システム情報取得

本製品の設定内容、ファームウェアバージョン、ログなどのシステム情報を取得し表示します。この項目をクリックすると、次のダイアログボックスが現れます。

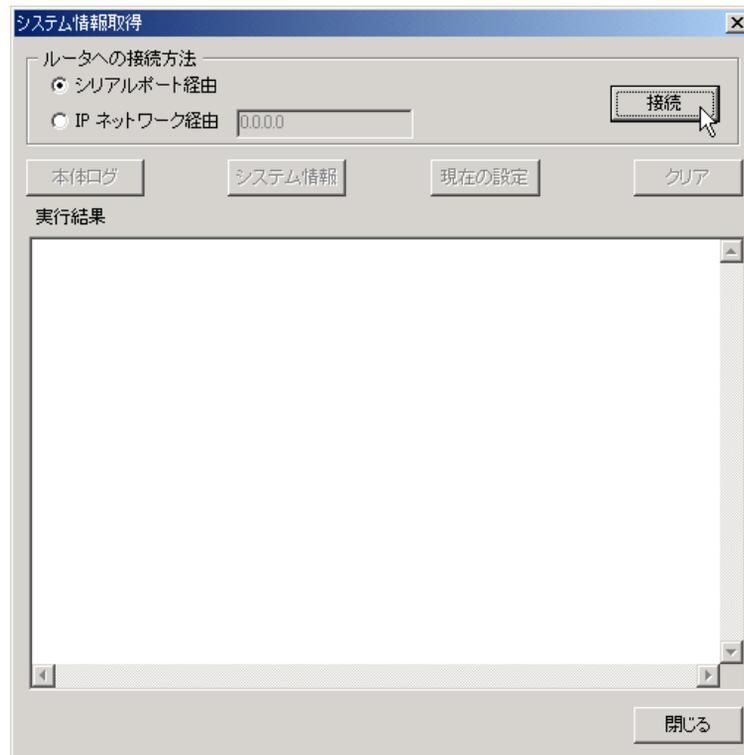


図 11.1.10 システム情報取得

#### ○ルータへの接続方法

本製品への接続方法を指定します。「シリアルポート経由」または「IP ネットワーク経由」をクリックして、「接続」をクリックしてください。

「IP ネットワーク経由」をクリックした場合、「接続」をクリックする前に、テキストボックスに本製品の IP アドレスを入力してください。

「接続」をクリックすると、本製品にログインするためのダイアログボックスが現れます。ユーザー名「manager」、パスワードを入力して、「OK」をクリックしてください。下記では、デフォルトの「friend」を仮定しています。



図 11.1.11 ログイン

ログインに成功すると、次のメッセージダイアログボックスが現れます。「OK」をクリックしてください。

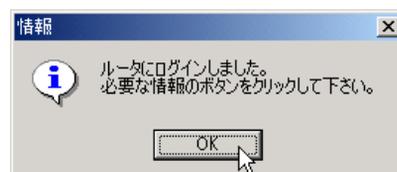


図 11.1.12

「本体ログ」「システム情報」「現在の設定」「クリア」ボタンが有効となり、「実行結果」欄に「Manager>」プロンプトが表示されます。

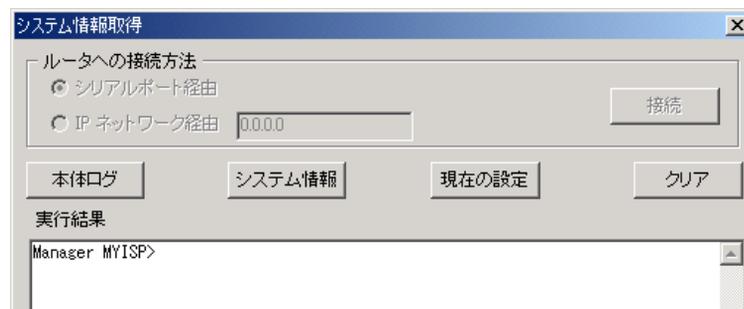


図 11.1.13 システム情報取得（ログイン後）

- 本体ログ  
本製品に「SHOW LOG」コマンドを送り、ログを表示します。ログを見ることにより、リンクアップやダウンなどの運用上の情報を確認できます。
- システム情報  
本製品に「SHOW SYSTEM」コマンドを送り、システム情報を表示します。システム情報を見ることにより、ファームウェアのバージョン、アップタイムなどを確認できます。
- 現在の設定  
本製品に「SHOW CONFIG DYNAMIC」コマンドを送り、現在の設定を表示します。設定は、IP、PPP、DHCP、LOG、MAIL など機能ごとに分類されています。
- クリア  
「実行結果」欄に表示されている内容を消去します。
- 閉じる  
本製品からログアウトし、「システム情報取得」ダイアログボックスを閉じます。次のメッセージダイアログボックスが現れたら「OK」をクリックしてください。



図 11.1.14

## 「ヘルプ」メニュー

Easy Configure のヘルプ、バージョン情報を表示するメニューです。

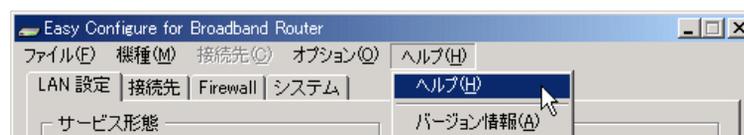


図 11.1.15 ヘルプメニュー

## ● ヘルプ

Easy Configure のヘルプを表示します。



図 11.1.16 Easy Configure Help

## ● バージョン情報

Easy Configure のバージョン情報を表示します。



図 11.1.17 Easy Configure バージョン情報

## 「設定を作成」ボタン

「LAN 設定」「接続先」「Firewall」「システム」ページで設定された項目から、本製品に送信するための設定ファイルを作成するボタンです。このボタンをクリックすると、「作成された設定」ダイアログボックスが現れ、設定ファイルの内容を確認できます。

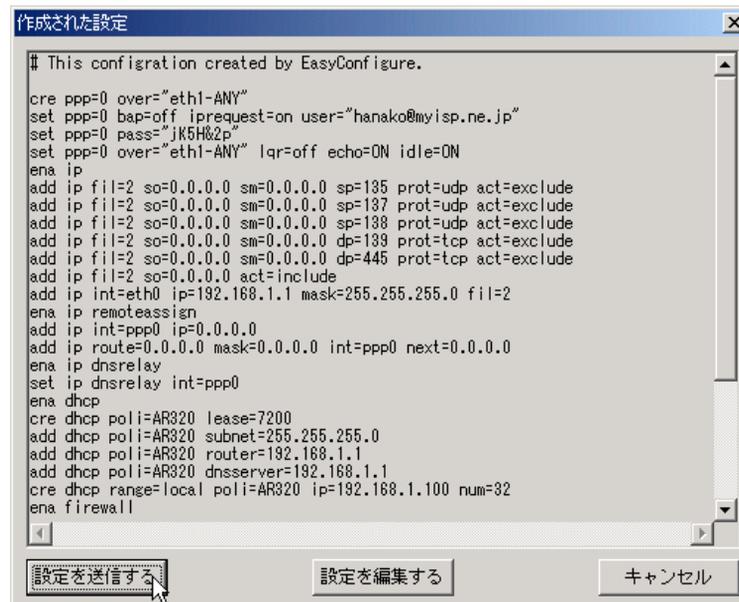


図 11.1.18 作成された設定

### ○設定を送信する

お客様によって作成された設定を本製品に送信するボタンです。「図 11.1.4 設定ファイル名の指定」(p.42)のようにファイル名を指定した場合、本製品のフラッシュメモリー<sup>\*13</sup>に保存される設定ファイル名は、指定したファイル名となります。ファイル名を指定しなかった場合、デフォルトの設定ファイル名として「ECONF.CFG」が使用されます。

このボタンをクリックすると、本製品にログインするためのダイアログボックス(図 11.1.19)が現れます。ユーザー名「manager」、パスワードを入力して、「OK」をクリックしてください(デフォルトのパスワードは「friend」です)。



図 11.1.19 ログイン

ログインに成功すると、Easy Configure は送信しようとしている設定ファイルと同名のファイルが本製品のフラッシュメモリー上に存在するか否かを確認します。

存在する場合、次の警告を表示します。既存のファイルを削除してもよい場合、「はい」をクリックしてください。不可の場合、「ファイル」「設定に名前を付けて保存」で設定ファイル名を付けた上で、再度設定を送信してください。

<sup>\*13</sup> 本製品には、フラッシュメモリーによるファイルシステムが搭載されています。ファームウェアファイル、設定ファイルは、このファイルシステムに保存されており、本製品が起動するとき実行メモリー上に読み込まれます。



図 11.1.20 同名設定ファイルの存在

「設定送信状況」ダイアログボックスが現れ( 図 11.1.21 )、設定ファイルの送信状況が表示されます。

シリアル経由の場合、設定ファイルの内容を 1 行ずつ送信し実行しますが、IP ネットワーク経由の場合、TFTP を使用して CFG ファイル自身を転送するため、表示内容が異なります。

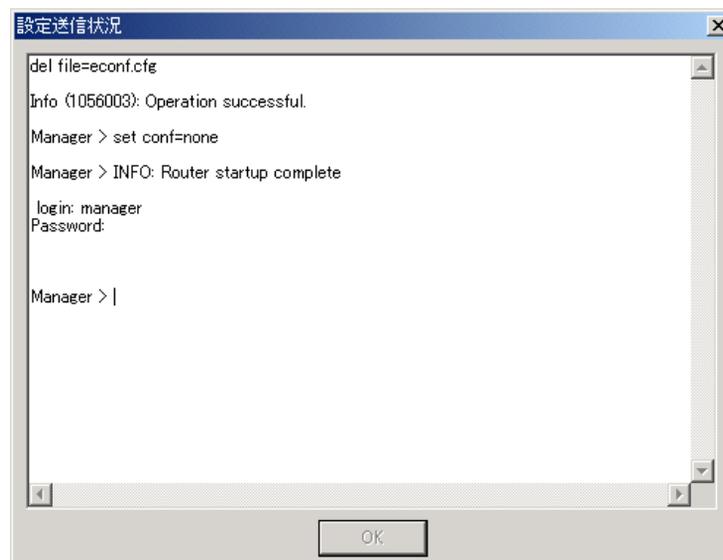


図 11.1.21 設定ファイルの送信状況

次のメッセージボックスが現れたら「OK」ボタンをクリックし、「設定送信状況」ダイアログボックスの「OK」をクリックしてください。



図 11.1.22 送信の完了

#### ○ 設定を編集する

このボタンをクリックすると、次のメッセージボックスが現れ、「設定を編集するか否か」を問われます。編集する場合、「はい」ボタンをクリックしてください。

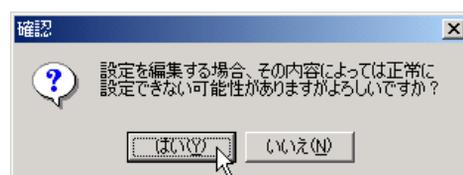


図 11.1.23

設定ファイルが表示されているテキストボックスの背景が白に変わり編集が可能となります。「設定を編集する」ボタンは「設定を適用する」ボタンに変わり、「設定を送信する」ボタンが無効となります(図 11.1.24)。編集を終えたら、「設定を適用する」をクリックしてください。図 11.1.18 に戻り、「設定を送信する」ボタンが有効となります。

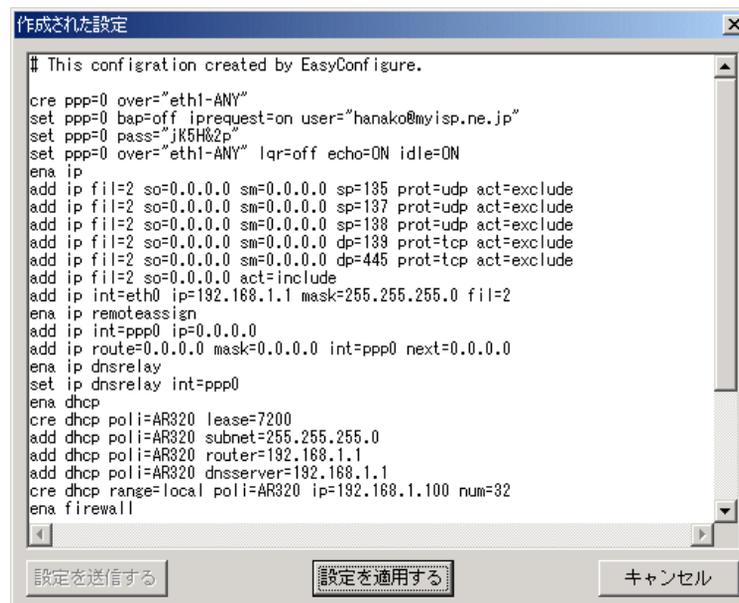


図 11.1.24

#### ○キャンセル

設定を送信せず「作成された設定」ダイアログボックスを閉じます。設定を編集の場合、編集による変更を適用せずに、「作成された設定」ダイアログボックスを閉じます。

#### 「設定を保存」ボタン

作成した設定に名前を付け、ファイルとしてコンピューターに保存します。ファイル名の拡張子は「CFG」です(拡張子「ECF」の同名のファイルが作成されますが削除しないでください)。保存した設定ファイル名は、タイトルバーに表示されます。「ファイル」メニュー 「設定に名前を付けて保存」と同じです。

#### 「クリア」ボタン

現在選択されているページ(タブ)の入力項目のすべてを変更前の状態(デフォルト)にもどします。

#### 「終了」ボタン

Easy Configure を終了します。「ファイル」メニュー 「終了」と同じです。

## 11.2 「LAN 設定」ページ

本製品の LAN 側の設定を行うページです。

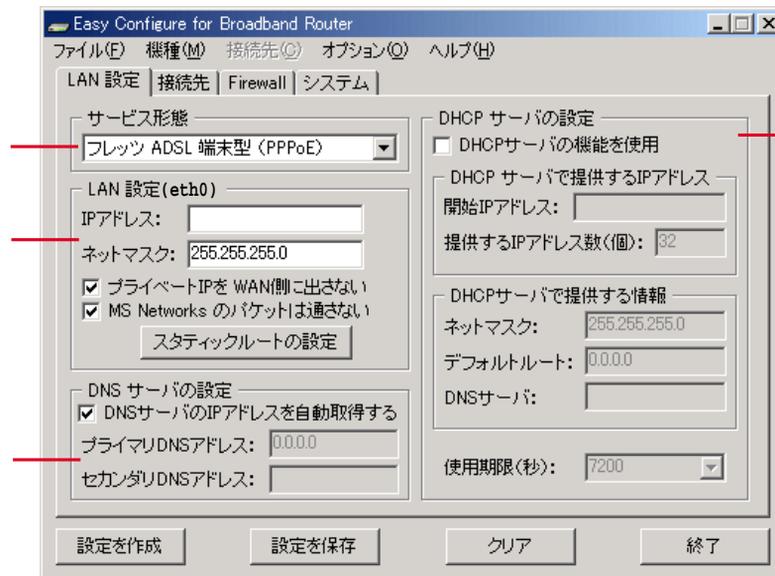


図 11.2.1 LAN 設定

### サービス形態

下記からご利用になるサービス形態を選択してください。下記名称以外のサービス（NTT 以外）のお客様は、ご利用になるサービスと同等の項目を選択してください。

- ・ フレッツ ADSL 端末型（PPPoE）
- ・ フレッツ ADSL LAN 型（PPPoE）
- ・ B フレッツ端末型（PPPoE）
- ・ B フレッツ LAN 型（PPPoE）
- ・ CATV インターネット端末型（DHCP）
- ・ OCN ADSL アクセス IP1 プラン（PPPoE）
- ・ スーパー OCN DSL アクセス（Ethernet）

### LAN 設定 (eth0)

#### ● IP アドレス

LAN 側のイーサネットインターフェース (eth0) の IP アドレスを入力してください。

(例) 192.168.1.1

#### ● ネットマスク

LAN 側のイーサネットインターフェース (eth0) のネットマスクを入力してください。

(例) 255.255.255.0

#### ● プライベート IP を WAN 側に出さない

NAT を使用しないとき<sup>\*14</sup>、LAN 側に存在するプライベート IP アドレス<sup>\*15</sup>が、WAN 側（インターネット）に送出されてしまうのを防止します。チェック「✓」すると、ソースアドレスとしてプライベート IP アドレスを持つパケットを WAN 側に送出しないよう、LAN 側インターフェース (eth0) に対してフィルターをかけます。通常はチェックしたままご使用ください（デフォルト）。

- MS Network のパケットを通さない

チェック「✓」すると、LAN 環境における MS Network (Windows のファイル共有など) のパケットを WAN 側 (インターネット) に送じないよう、LAN 側インターフェース (eth0) に対してフィルターをかけます<sup>\*16</sup>。通常はチェックしたままご使用ください (デフォルト)。

- スタティックルートの設定

経路情報をスタティック (静的) に設定することができます。ネットワーク上に複数のルーターが存在するような場合、設定が必要です。デフォルトルートは、WAN 側に向くようにあらかじめ設定されています (CATV インターネット端末型、スーパー OCN DSL アクセスを選択した場合、「WAN 設定」ページにより DHCP クライアントで取得、または固定的に入力されたゲートウェイがデフォルトゲートウェイとして使用され、一覧には表示されません)。

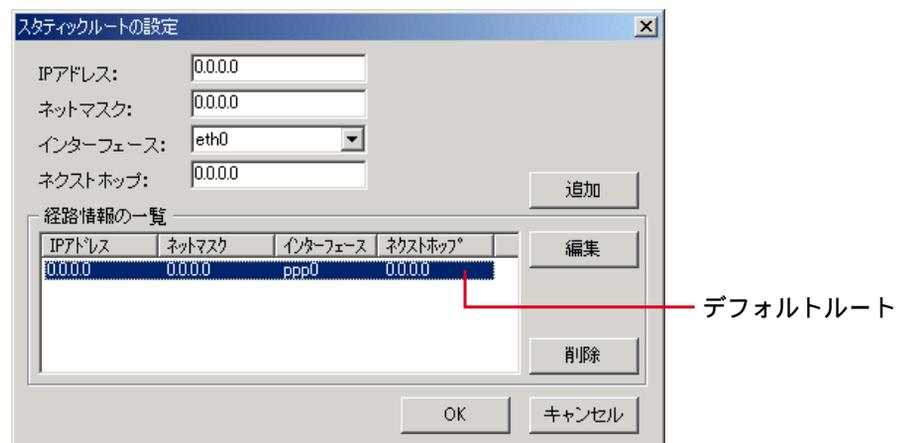


図 11.2.2 スタティックルートの設定

- IP アドレス

通信の宛先となるネットワークの IP アドレスを入力してください。デフォルトルートの場合は「0.0.0.0」を入力します。

(例) 192.168.5.0

- ネットマスク

通信の宛先となるネットワークのネットマスクを入力してください。デフォルトルートの場合は「0.0.0.0」を入力します。

(例) 255.255.255.0

\*14 「Firewall」ページの「Firewal を使用する」がチェックされていない場合、またはチェックされているが「NAT の設定」が無い場合です。

\*15 10.0.0.0/8 (クラス A)、172.16.0.0/12 (クラス B)、192.168.0.0/24 (クラス C) の IP アドレスです。プライベート IP アドレスは、インターネットに送信しない条件で、誰もが自由に使用できます。NAT を使用する場合、プライベート IP アドレスは WAN 側に送信されることはありません。

\*16 ソースポート 135、137、138 を持つ UDP パケットと、ディスティネーションポート 139、445 を持つ TCP パケットを遮断します。

#### ○インターフェース

通信の宛先となるネットワークが存在する側の、本製品のインターフェースを指定してください。

(例) ppp0、ppp1、eth1

#### ○ネクストホップ

通信の宛先への経路となるルーターの IP アドレスを入力してください。PPP (PPPoE) で Unnumberd の場合は「0.0.0.0」を入力します。

#### ○追加

「IP アドレス」「ネットマスク」「インターフェース」「ネクストホップ」テキストボックスに入力したスタティックルートを経路情報として追加します。追加された経路情報は、「経路情報の一覧」に表示されます。

#### ○経路情報の一覧

設定済みのスタティックルートが表示されます。

##### ・編集

設定済みのスタティックルートを編集します。「経路情報の一覧」からスタティックルートを選択し、「編集」ボタンをクリックしてください。「IP アドレス」「ネットマスク」「インターフェース」「ネクストホップ」テキストボックスに、編集対象のスタティックルートが表示され、「編集」ボタンが「編集適用」ボタンに変わります。各項目の編集を終えたら、「編集適用」ボタンをクリックしてください。

##### ・削除

設定済みのスタティックルートを削除します。「経路情報の一覧」からスタティックルートを選択し、「削除」ボタンをクリックしてください。

#### ○キャンセル

「経路情報の一覧」へのスタティックルートの追加、削除、編集内容を破棄し、「スタティックルートの設定」ダイアログボックスを閉じます。

#### ○OK

「経路情報の一覧」へのスタティックルートの追加、削除、編集内容を設定に反映し、「スタティックルートの設定」ダイアログボックスを閉じます。

## DNS サーバの設定

### ●DNS サーバの IP アドレスを自動取得する

チェック「✓」すると、本製品がご契約のプロバイダーに接続するときに、DNS サーバの IP アドレスをプロバイダーから自動的に取得します。通常はチェックしたままご使用ください(デフォルト)。チェックを外した場合、プライマリー DNS アドレス、セカンダリー DNS アドレスを入力してください。

### ●プライマリ DNS アドレス

「DNS サーバの IP アドレスを自動取得する」のチェック「✓」を外した場合、ご契約のプロバイダーから指定されたプライマリー DNS サーバの IP アドレスを入力してください。DNS サーバアドレスがひとつしか指定されなかった場合、この欄に入力してください。

(例) 87.65.43.21

- セカンダリ DNS アドレス

「DNS サーバの IP アドレスを自動取得する」のチェック「✓」を外した場合、ご契約のプロバイダーから指定されたセカンダリ DNS サーバの IP アドレスを入力してください。DNS サーバアドレスがひとつしか指定されなかった場合、このテキストボックスは空欄のままにしてください。

(例) 87.65.43.22

## DHCP サーバの設定

本製品は、DHCP サーバとして動作させることができます。DHCP サーバにより、Macintosh、Windows などの DHCP クライアントに対して、IP アドレスをはじめとする設定情報を提供し、コンピュータ個々の TCP/IP 設定の手間を省くことができます。

- DHCP サーバの機能を使用

チェック「✓」すると、本製品を DHCP サーバとして動作させます。デフォルトはチェックなしです。

- DHCP で提供する IP アドレス

- 開始 IP アドレス

DHCP クライアントに提供（リース）する IP アドレス範囲の先頭を入力してください。

(例) 192.168.1.100

- 提供する IP アドレス数（個）

「開始 IP アドレス」を先頭にして、指定した個数分の IP アドレスを DHCP クライアントへの提供用として確保します。例えば、「開始 IP アドレス」として「192.168.1.100」、個数 32 を指定した場合、192.168.1.100 ~ 192.168.1.131 が確保されます。デフォルトは 32 個です。1 ~ 255 が指定可能ですが、LAN 側ネットワークのネットマスク、本製品自身（eth0、eth1 など）に設定されている IP アドレスによって、個数の最大値は 255 よりも少なくなります。

- DHCP サーバで提供する情報

DHCP クライアントに提供するための、IP アドレス以外の情報を設定します。

- ネットマスク

DHCP クライアントに提供するネットマスクを入力します。「LAN 設定 (eth0)」の「ネットマスク」と同じ値を指定します（デフォルト）。

- デフォルトルート

DHCP クライアントに提供するデフォルトルートを入力します。通常は「LAN 設定 (eth0)」の「IP アドレス」と同じ値を指定します（デフォルト）。

- DNS サーバ

DHCP クライアントに提供する DNS サーバの IP アドレスを入力します。DNS リレー機能が常に有効に設定されるので、通常は「LAN 設定 (eth0)」の「IP アドレス」と同じ値を指定します（デフォルト）<sup>\*17</sup>

- 使用期限（秒）

DHCP クライアントに提供（リース）する IP アドレスの使用期限を指定します。デフォルトは 7200 秒 (2 時間<sup>\*18</sup>) です。3600 ~ 999999999 の範囲、または「INFINITY」が指定できます。

## 11.3 「接続先」ページ ( PPPoE )

PPPoE ( PPP over Ethernet ) における接続先を設定するページです。「LAN 設定」ページの「サービス形態」で下記のサービスを選択した場合、2 番目のタブは「接続先」ページとなります。

- ・ フレッツ ADSL 端末型 ( PPPoE )
- ・ フレッツ ADSL LAN 型 ( PPPoE )
- ・ B フレッツ ( PPPoE )
- ・ OCN ADSL アクセス IP1 プラン ( PPPoE )

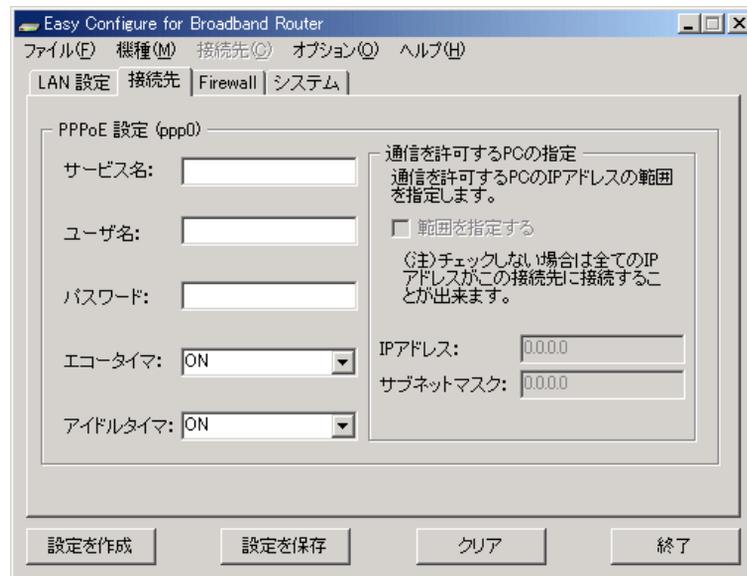


図 11.3.1 「接続先」ページ ( B フレッツ )

### PPPoE 設定 ( ppp0 )

#### ● サービス名

ADSL の工事を行った通信業者から指定されたサービス名を入力してください。1 ~ 18 文字の半角英数字が入力できます。指定されなかった場合、何も入力せず空欄にしてください。<sup>\*19</sup>

#### ● ユーザ名

ご契約のプロバイダーから提供された PPP 接続のためのユーザー名を入力してください。1 ~ 64 文字の半角英数字が入力できます。

(例) deilla@myisp.ne.jp

\*17 Easy Configure が生成する設定は、B フレッツで複数の接続先 ( PPP セッション ) が設定されている場合を除いて、DNS リレー機能が常に有効にされます。DNS リレーとは、DNS クライアントから受けたリクエストを DNS サーバーに転送し、DNS サーバーから得たレスポンスを DNS クライアントに返す機能です ( DNS クライアントからは、本製品があたかも DNS サーバーであるように見えます )。

\*18 DHCP クライアントは、使用期限が満了する前に期限の延長要求を出すので、特定の DHCP クライアントに提供された IP アドレスはほぼ固定的に使用されます。

\*19 空欄にした場合、サービス名として「ANY」が使用されます。

- パスワード

ご契約のプロバイダーから提供された PPP 接続のためのパスワードを入力してください。1 ~ 64 文字の半角英数字が入力できます。

(例) jK5H&i2p

- エコータイマ

PPP のエコータイマーを設定します。「ON」(デフォルト)に設定すると、接続先に対して 10 秒間隔で LCP エコーリクエストのパケットを送信します。接続先からの応答が連続して 3 回得られない場合、接続がダウンしたとみなします。ON の代わりに数値 1 ~ 99999999 (秒)を指定すると、送信間隔を変えることができます。OFF を指定すると、LCP エコーリクエストのパケットを送信しません。デフォルト (ON) のままご使用になることをお勧めします。

- アイドルタイマ

PPP のアイドルタイマーを設定します。「ON」(デフォルト)に設定すると、接続の要求が発生したとき自動的に接続し、通信トラフィックが 60 秒間発生しなかったとき、自動的に接続を切断します。ON の代わりに数値 1 ~ 99999999 (秒)を指定すると、トラフィックなしと判断し接続を切断するまでのタイマー値を変えることができます。OFF を指定すると、自動接続や切断を行いません。デフォルト (ON) のままご使用になることをお勧めします。

- 接続を許可する PC の設定

「LAN 設定」ページで「B フレッツ (PPPoE)」\*20 を選択している場合、設定が可能となります。「接続先」メニューの「追加」により、複数の「接続先」ページが存在している場合、接続先ごと (PPP セッションごとに) 通信を許可するコンピューターを制限することができます。「図 11.1.6 複数の「接続先」ページ」(p.43) をご覧ください。

- 範囲を指定する

チェック「✓」すると、選択している「接続先」ページの接続先に対して通信を許す LAN 側の IP アドレスの範囲が指定可能となります。チェックを外すと (デフォルト) LAN 側のすべての IP アドレスが通信を許されます。

- IP アドレス

通信を許す LAN 側の IP アドレスの範囲の先頭の IP アドレスを入力してください。

(例) 192.168.1.48

- サブネットマスク

サブネットマスクのビット数によって、通信を許す LAN 側の IP アドレスの範囲を指定してください。例の値のように指定すると、192.168.1.48 ~ 192.168.1.63 の 16 個となります。

(例) 255.255.255.240

\*20 B フレッツ・ビジネスタイプでは同時に 4 本の PPP セッション、ベーシックタイプでは同時に 2 本の PPP セッションを張ることができます。

## 11.4 「WAN 設定」ページ (DHCP、Ethernet)

「LAN 設定」ページの「サービス形態」で下記を選択した場合、2 番目のタブは DHCP クライアントなどの設定を行う「WAN 設定」ページとなります。

- CATV インターネット端末型 (DHCP)
- スーパー OCN DSL アクセス (Ethernet)

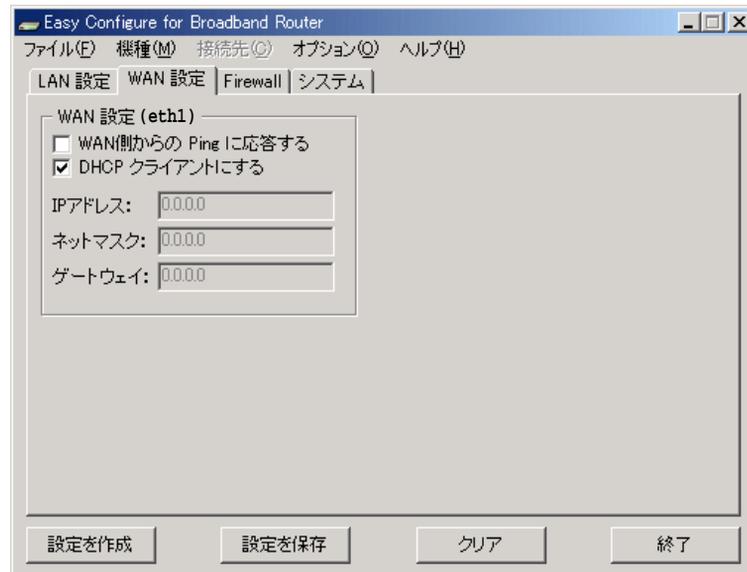


図 11.4.1 「接続先」ページ (CATV インターネット端末型)

### WAN 設定 (eth1)

#### ● WAN 側からの Ping に応答する

チェック「✓」すると、WAN 側からの Ping<sup>\*21</sup> に応答します。チェックを外すと、WAN 側のインターフェース (eth1) に対して、WAN 側を起点とした Ping パケットを遮断する IP フィルターをかけます。通常は、チェックを外して置きます (デフォルト)。

#### ● DHCP クライアントにする

チェック「✓」すると、WAN 側のインターフェース (eth1) を DHCP クライアントとして動作させ、プロバイダーから IP アドレスなどの情報を自動取得します。「CATV インターネット端末型」をご利用のお客様は、チェックしてください。<sup>\*22</sup>

チェックを外した場合は、IP アドレス、ネットマスクを入力してください。「スーパー OCN DSL アクセス」をご利用のお客様はチェックを外し、次の IP アドレス、ネットマスクを入力してください。<sup>\*23</sup>

#### ○ IP アドレス

プロバイダーから指示された IP アドレスを入力してください。

(例) 11.22.33.46

\*21 「CATV インターネット端末型」の接続では本製品で NAT が使用される設定となるため、WAN 側からの LAN 上に存在するコンピューターに対する Ping は届きません。

\*22 「CATV インターネット端末型」におけるデフォルトです。

\*23 「スーパー OCN DSL アクセス」におけるデフォルトです。

- ネットマスク  
プロバイダーから指示されたネットマスクを入力してください。  
(例) 255.255.255.0
- ゲートウェイ  
プロバイダーから指示された WAN 側のゲートウェイアドレスを入力してください。  
(例) 11.22.33.45

## 11.5 「Firewall」ページ

Firewall (ファイアウォール)<sup>\*24</sup>、NAT の設定を行うページです。本製品におけるファイアウォールの基本ルールは、LAN 側を起点とする通信は透過し、WAN 側を起点とする通信はすべて遮断します。基本ルールに対して新たなルールを追加することにより、WAN 側を起点とする特定の通信を透過するように設定します。

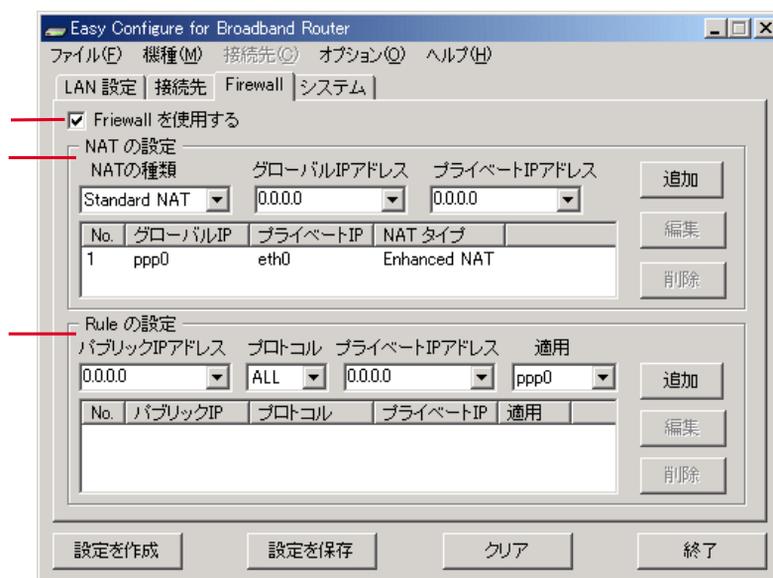


図 11.5.1 「Firewall」ページ

### Firewall を使用する

チェック「✓」すると、「NAT の設定」「Rule の設定」が利用可能となります。

### NAT の設定

#### ● NAT の種類

##### ○ Standard NAT

1 つのプライベート IP アドレスを 1 つのグローバル IP アドレスに変換します。ポート番号の変換は行われません。「フレッツ ADSL LAN 型」「B フレッツ」「スーパー OCN DSL アクセス」の場合に使用できます。<sup>\*25</sup>

<sup>\*24</sup> ファイアウォールとは、インターネットからの攻撃からローカルネットワークを保護する機能です。本製品は、IP トラフィックフローの開始・終了を認識し、これに応じて動的なパケットフィルタリングを行うステートフルインスペクション型のファイアウォールが搭載されています。

<sup>\*25</sup> お客様がプロバイダーから複数のグローバル IP アドレスを取得している場合、すなわち LAN 型接続の場合に使用できます。

## ○ Enhanced NAT

複数のプライベート IP アドレスを 1 つのグローバル IP アドレスに変換します ( IP アドレスとポート番号を組み合わせた動的変換を行います )。「フレッツ ADSL 端末型」「CATV インターネット端末型」「OCN ADSL アクセス IP1 プラン」では、これのみが使用可能です ( デフォルトで設定 )。

## ● グローバル IP アドレス

Enhanced NAT の場合、WAN 側のインターフェース名のみが指定可能です。したがって、「フレッツ ADSL 端末型」「OCN ADSL アクセス IP1 プラン」では常に ppp0、「CATV インターネット端末型」では常に eth1 となります。Standard NAT の場合、プロバイダーから取得しているグローバル IP アドレスのひとつを入力してください。

## ● プライベート IP アドレス

Enhanced NAT の場合、LAN 側のインターフェース名のみが指定可能です。したがって、「フレッツ ADSL 端末型」「CATV インターネット端末型」「OCN ADSL アクセス IP1 プラン」では常に eth0 となります。Standard NAT の場合、プライベート IP アドレスを入力してください。

## ● 追加

「NAT の種類」「グローバル IP アドレス」「プライベート IP アドレス」に入力した内容を NAT の設定として追加します。追加された設定は、一覧に表示されます。

## ● 編集

既に存在する NAT の設定を編集します。一覧で編集したい項をクリックし、「編集」をクリックしてください。編集したい項の内容が「NAT の種類」「グローバル IP アドレス」「プライベート IP アドレス」に表示され、「編集」ボタンは「編集適用」に変わります。該当の項目を変更し、「編集適用」をクリックしてください。

## ● 削除

既に存在する NAT の設定を削除します。一覧で削除したい項をクリックし、「削除」をクリックしてください。

## Rule の設定

基本ルール<sup>\*26</sup>に対して、WAN 側 ( パブリックネットワーク ) を起点とする特定の通信を許可するルールを設定します。

## ● パブリック IP アドレス

WAN 側の特定のホストからの通信を許可する場合、ホストの IP アドレスを設定します。WAN 側のすべてのホストからの通信を許可する場合、WAN 側のインターフェース名 ( ppp0、eth1 など ) を設定します。

## ● プライベート IP アドレス

LAN 側の特定のホストへの通信を許可する場合、ホストの IP アドレスを設定します<sup>\*27</sup>。LAN 側のすべてのホストへの通信を許可する場合、LAN 側のインターフェース名 ( eth0 ) を設定します。

\*26 WAN 側 ( パブリックネットワーク ) を起点とする通信はすべて遮断、LAN 側 ( プライベートネットワーク ) を起点とする通信はすべて透過が基本ルールです。

\*27 Enhanced NAT が設定されている場合 ( 「フレッツ ADSL 端末型」「CATV インターネット端末型」「OCN ADSL アクセス IP1 プラン」の場合 ) IP アドレスが動的に変換されるため WAN 側から LAN 側のホストに対してパケットは届きません。

- プロトコル

通信を許可するプロトコルを選択します。ALL（すべてのプロトコル）、HTTP、DNS、FTP、SMTP、POP3 を選択することができます。

- 適用

ルールを適用する WAN 側のインターフェース名を指定します。  
 (例) ppp0、ppp1、eth1

- 追加

「パブリック IP アドレス」「プロトコル」「プライベート IP アドレス」「適用」に入力した内容をルールの設定として追加します。追加された設定は、一覧に表示されます。

- 編集

既に存在するルールの設定を編集します。一覧で編集したい項をクリックし、「編集」をクリックしてください。編集したい項の内容が「パブリック IP アドレス」「プロトコル」「プライベート IP アドレス」「適用」に表示され、「編集」ボタンは「編集適用」に変わります。該当の項目を変更し、「編集適用」をクリックしてください。

- 削除

既に存在するルールの設定を削除します。一覧で削除したい項をクリックし、「削除」をクリックしてください。

## 11.6 「システム」ページ

システム名、ログ、パスワードなど、システム運用的な項目に関する設定を行うページです。

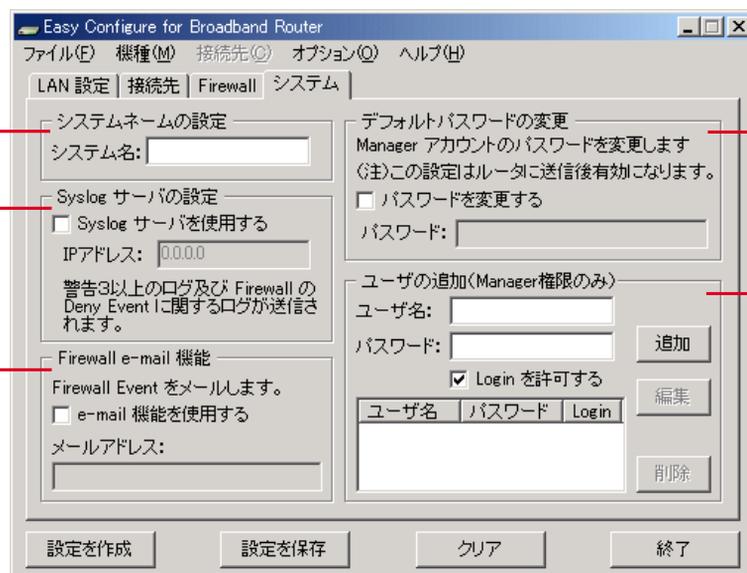


図 11.6.1

### システム名の設定

- システム名

ルーターが複数存在するような環境では、システム名を設定しておくのが便利です。用途、設置場所などの分かりやすい名前を設定してください。1 ~ 32 文字の半角英数字が設定できます。空欄にしておくと、システム名は設定されません。システム名は、本製品にログインしたとき、プロンプト文字列の一部として表示されます。

ご契約のプロバイダーが CATV の場合、プロバイダーから提供された「コンピューター名」を入力してください。提供されていない場合、設定は不要です（空欄にしてください）。  
（例）MYISP、DEILLA、zy1234567-a

## Syslog サーバの設定

警告 3 以上のログと、ファイアウォール機能が WAN 側からのアクセスを拒否したときのログを Syslog サーバに送信します。

- Syslog サーバを使用する  
チェック「✓」すると Syslog サーバにログを送信します。チェックを外すと送信しません（デフォルト）。
- IP アドレス  
Syslog サーバを使用するをチェックした場合、IP アドレスを設定してください。  
（例）123.45.67.83

## Firewall e-mail 機能

ファイアウォールイベントが発生するごとに、イベントを知らせるメールを送信します。

- e-mail 機能を使用する  
チェック「✓」するとメールを送信します。チェックを外すと送信しません（デフォルト）。
- メールアドレス  
メールの宛先アドレスを設定します。メールアドレスとして、IP アドレスを指定する場合は [] でくくってください。メールアドレスとして、ドメイン名（FQDN 形式）を使用すると、本製品は名前解決のために「LAN 設定」ページで設定した DNS サーバを参照します。  
（例）hanako@[123.45.67.84]、hanako@deilla.co.jp

## デフォルトパスワードの変更

デフォルトで存在するユーザー「manager」のパスワードを変更します。「manager」は、本製品の設定やシステム情報取得を行うためのユーザーです。セキュリティのために必ず変更してください。

- パスワードを変更する  
チェック「✓」すると、パスワードを変更します。チェックを外すと変更しません。
- パスワード  
1 ~ 32 文字の半角英数字・記号（クエスチョンマーク、ダブルクォーテーションを除く）が使用できます。半角、全角を区別します。  
このパスワードは、設定ファイルを本製品に送信した後直ちに有効となりますので、本製品の設定変更やシステム情報取得を行う場合は、このパスワードを使用してください（「図 11.1.11 ログイン」(p.45)）。  
パスワードは絶対に忘れないでください。忘れると、本製品の設定変更やシステム情報取得ができなくなります（忘れてしまった場合の対応方法は、弊社・ユーザーサポートにお問い合わせください）。

## ユーザの追加

manager と同じ特権（Manager レベル）を持つユーザーを追加します。

- ユーザ名  
1 ~ 64 文字の半角英数字・記号（クエスチョンマーク、ダブルクォーテーション、スペースを除く）が使用できます。半角、全角を区別しません。
- パスワード  
1 ~ 32 文字の半角英数字・記号（クエスチョンマーク、ダブルクォーテーションを除く）が使用できます。半角、全角を区別します。このパスワードは、設定ファイルを本製品に送信した後直ちに有効となりますので、本製品の設定変更やシステム情報取得を行う場合は、このパスワードを使用してください（「図 11.1.11 ログイン」（p.45））。パスワードは絶対に忘れないでください。忘れると、本製品の設定変更やシステム情報取得ができなくなります（忘れてしまった場合の対応方法は、弊社・ユーザーサポートにお問い合わせください）。
- ログインを許可する  
チェック「✓」すると、コンソールターミナル、Telnet による本製品へのログインを許可します。チェックを外すと許可しません。
- 追加  
「ユーザ名」「パスワード」「ログインを許可する」に入力した内容を、新規ユーザーとして追加します。追加されたユーザーは、一覧に表示されます。
- 編集  
既に存在するユーザーの設定を編集します。一覧で編集したい項をクリックし、「編集」をクリックしてください。編集したい項の内容が「ユーザ名」「パスワード」「ログインを許可する」に表示され、「編集」ボタンは「編集適用」に変わります。該当の項目を変更し、「編集適用」をクリックしてください。
- 削除  
既に存在するユーザーを削除します。一覧で削除したい項をクリックし、「削除」をクリックしてください。

## おことわり

Easy Cofigure for Broadband Router につきまして、アライドテレシス株式会社はユーザーサポートをお断りしています。Easy Cofigure for Broadband Router は、お客様ご自身の判断によるご利用をお願い申し上げます。なお、Easy Cofigure for Broadband Router に対するご意見、ご感想がございましたら、メールにて下記の宛先までお願いいたします。

ezconspt@allied-telesis.co.jp

## ご注意

- 1 本マニュアルは、アライドテレシス株式会社が作成したもので、全ての権利をアライドテレシス株式会社が保有しています。本書の全部または一部を弊社の同意なしにコピーまたは転載することを固くお断りいたします。
- 2 アライドテレシス株式会社は、予告なく本マニュアルの一部または全体を修正、変更することがありますのでご了承ください。
- 3 アライドテレシス株式会社は、改良のため予告なく製品の仕様を変更することがありますのでご了承ください。
- 4 本マニュアルについて、万一記載漏れ、誤りやご不審な点などがございましたらご連絡ください。
- 5 本製品を運用して発生した結果については、2、3、4 項にかかわらず、責任を負いかねますのでご了承ください。

©2001-2002 アライドテレシス株式会社

©2001-2002 Allied Telesyn International Corporation

## 商標について

CentreCOM は、アライドテレシス株式会社の登録商標です。

Apple、AppleTalk、Macintosh は、米国 Apple Computer,Inc. の商標です。

NetWare は、米国 Novell,Inc. の登録商標です。Novell、IPX、SPX、IPX/SPX は、米国 Novell,Inc. の商標です。

Windows、MS-DOS、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。

## マニュアルバージョン

2002 年 12 月 11 日	Rev.D	ecfb_v20.exe
2002 年 5 月 20 日	Rev.C	ecfb_v17.exe、シングルソース
2001 年 12 月 12 日	Rev.B	スーパー OCN DSL アクセスの記述を訂正
2001 年 12 月 3 日	Rev.A	初版 (ECONFV15.exe)

